平成30年度

尼崎の教職員を支援するために

平成30年度事業計画

平成29年度事業報告

尼崎市教育委員会事務局

教育総合センター
教職員の学び支援課

平成３０年度　『尼崎の教職員を支援するために』

平成30年度事業計画

１　教育総合センターの事業について　……　1

２　研修体系策定の方針　……　3

３　具体的な取り組み　……　4

４　研修をすすめるにあたって　……　6

５　研修体系図　　※別添参照　P. ９　……　8

６　教育総合センター研修一覧表　……　10

７　教職員研修計画内容　……　12

８　教育総合センター研修担当分担表　……　17

９　文部科学省・県教育委員会等の実施する研修一覧　……　19

平成29年度事業報告

10 平成29年度研修報告　……　20

11 平成29年度教育研究部会の概要報告　……　26

12 児童生徒文化充実支援事業の実施報告　……　30

13 平成29年度教科書センター事業報告　……　31

14 平成29年度教育情報の収集・整理事業報告　……　31

資料

欠席届（様式3）　教職員の学び支援課長　あて　……　32

１　教育総合センターの事業について

教育総合センター　教職員の学び支援課は，教職員の研修，教育の情報化の推進及び自主研究グループ支援に関する事業を担当するとともに，児童生徒文化充実支援事業を中心に市内小・中学校の教科等研究会と連携し，学力向上に繋がる実践的な取組を支援している。

以下，本年度の運営方針と事業の概要を示す。

１　運営方針

兵庫県は，教育の基本計画である「ひょうご教育創造プラン」を策定し，「こころ豊かで自立した人づくり」の基本理念に基づき「確かな学力」の確立，自立心や自律性など，道徳性をはじめとする「豊かな心」の育成，教職員の資質能力の向上などを目指している。

本市においても，平成２５年度から１０年間を見通した『尼崎市総合計画』，教育振興基本計画において学校教育施策の展開方向が示され，学校教育に関する重点取組では「教育・学習内容の充実」「心の教育の充実・自己実現の意識の高揚」「家庭・地域・学校の連携推進」「安全な教育環境の確保・防災意識の高揚」を掲げている。

教育総合センター　教職員の学び支援課では，県や市の示した方向性に対応すべく，教職員の資質向上の取組を推進するため，研修体系や教職員の不断の研究と修養を支援する。

２　主な事業の概要

現在，教育総合センター　教職員の学び支援課には研修・情報教育・自主研究グループ支援の３つの担当があり，それぞれが連携を図りながら事業を進めていく。

＜教職員研修事業＞

研修体系の柱として，「人材育成の強化」「他部門との連携強化」「教育課題への対応力強化」を掲げ，基本研修と専門研修，先進的研究・自主研修を計画的に実施する。また，リーダー養成研修，道徳教育推進教師研修，就学前教育研修等において講師を招聘し，本市の教育水準の向上を図る。

＜教職員法定研修事業＞

新規採用教員に対して，採用日から１年間，職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を実施し，実践的指導力と使命感を養うとともに，幅広い見識を得させる。また，中堅教諭（１０年経験者）の能力，適正やニーズに応じて必要な事項に関する研修を実施し，指導力の向上等，教員としての資質の向上を図る。

＜指導力パワーアップ事業＞

授業改善アドバイザーを配置する。若手教員による学級づくりの課題解決及び授業内容の充実等のため，各小・中学校へ派遣し，指導・助言を行い，人材育成をスムーズに進め，若手教員の授業力・学級経営に係る指導力の向上を図る。

＜指導教員制度＞

教員の資質・指導力の向上を図るため，教科指導等において優れた教育実践を進める教員（マイスター教員制度）に加えて，研究部会等での優れた実践を行っている教員を新たに「指導教員」として認定し，その実践やスキルを主体的に伝えることのできる場を設定する制度を付加して，「指導教員制度」として実施することを考慮し，実践的指導力の向上を支援する。

＜アクティブ・ラーニング学習モデル研究事業＞

尼崎の子どもたちに適した，主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の実現に向

けた授業改善の推進をする。

＜次期学習指導要領の実施に向けた先進実践研究＞

学校教育に関する専門的事項について，所属長の推薦を得て教員に研究員を委嘱し，センターの指導主事や指導員と協力して実践的な研究を進める。成果等は,市内学校園に向けた公開授業,実践発表を行うとともに，研究報告書にまとめる。（平成３０年度末に第５６号を発刊）

＜児童生徒文化充実支援事業＞

児童生徒の個性・能力の伸長，学習への興味・関心・意欲を高めるため，児童生徒文化発表会等の文化的活動の奨励及び小・中学校の各教科研究会の実践的な取組を支援する。

また，その取組を広く周知するとともに，活性化を促すことで教員の資質向上につなげる。

＜育み・育ち・つなぐ音楽のまち尼崎事業＞

児童生徒による多彩な音楽活動を通じて，子どもたちを育み，大人たちも育ち，市民にとって愛着と誇りの持てるまちや未来につながるまちづくりを推進するため，「～育み・育ち・つなぐ～音楽のまち尼崎コンサート」を実施するとともに，市立小・中学校児童・生徒による音楽会や中・高等学校吹奏楽部による演奏会を実施する。〔教育振興基金事業〕

＜情報教育推進事業＞

教育の情報化を推進する。児童・生徒に対し，情報活用能力の育成を図るとともに，ＩＣＴを活用した授業や，情報モラル教育の充実を図る。

＜学校情報通信ネットワークシステム関係事業＞

校務の情報化を推進し，校務処理の効率化で生み出した時間を，児童・生徒と関わる時間に充てる。ネットワークの活用では，学校間，教育委員会の情報共有や，学校・園からの情報をホームページに公開する。

＜家庭学習支援事業＞

子どもたちの確かな学力の定着のため，全ての小・中学校の保護者と児童・生徒に対して，ＩＣＴを活用した家庭向け学習支援システムを利用し，家庭での自主学習を支援する。また，中学生を対象に実施する家庭学習支援事業において，その効果や課題を明らかにするため，中学校２校に研究スタッフを配置し，学習支援の研究を進める。

＜学びの先進研究サポート事業＞

本市教育の先導的な役割を担う自覚と意欲をもつ「学び続ける教員」を育成するために，教員の自主的研究や先進的研究を支援し，活性化を図る。具体的には，自主研究グループの活動費や先進地域への短期派遣研修（１週間程度）を支援する。研究の成果は，報告書や研究発表会等で発信する。

＜教育情報収集・提供事業＞

教育に関する図書，雑誌及び全国の教育センターの研究報告書，市内学校・園の研究誌等を収集するとともに，利用しやすいように整備し，貸出を行う。貸出については，昨年度より庁内メールを利用し，１人でも多くの教員に利用してもらえるようなシステムを構築した。また，広報活動として「教育あまがさき」（年間２回），「教育総合センターだより」（年間４回）を発行する。また，教職員及び市民の教科書研究のため，教科書センターを常設する。

２　研修体系策定の方針

１　平成３０年度学校教育に関する重点取組

（１）教育・学習内容を充実させ，確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む

1 授業改善の取組を促進するとともに，家庭との連携により，学力向上を推進する

2 特別支援教育の取組を充実させ，自立や社会参加に向けた主体性を育成する

3 食育を通して生活改善の取組を促進し，望ましい生活習慣を育成する

4 体育・スポーツ活動の取組を促進し，体力・運動能力の向上を図る

（２）心の教育を充実させ，自己実現の意識の高揚を図る

1 基本的生活習慣確立の取組を促進し，心身共に健全な育成を図る

2 道徳性育成の取組を促進し，思いやりに満ちた人間関係及び社会との関わりづくりに努める

3 各校のいじめ防止基本方針に基づき，誰もが過ごしやすい学校の環境づくりに努める

4 キャリア教育の取組を促進し，社会的自立に必要な能力を育成する

（３）家庭・地域・学校の連携を深め，活力に満ちた学校園づくりに取り組む。

1 教職員の資質向上の取組を促進し，業務改善を進めながら学校の組織力及び教育水準の向上を図る

2 地域の教育力を活用した取組を促進し，地域とともにある学校園づくりを推進する

（４）安全な教育環境を確保し，防災意識の高揚を図る

1 安全教育の取組を促進し，登下校及び校内の安全確保を図る

2 防災教育の取組を促進し，危機管理能力の向上を図る

２　研修体系について

平成３０年度学校教育に関する重点取組をふまえ，研修を大きく基本研修，専門研修，先進的研究・自主研修，特別臨時研修の４つに分類し実施していく。

また，道徳や小学校英語教育の教科化，主体的・対話的で深い学びの実現に向けて，基本研修において研修の重点化や拡充，整理を行う。具体的な内容としては，道徳教育推進教師研修や外国語活動担当者研修は内容や方法を拡充していく。研修をシリーズ化し，各学校の担当者に受講してもらう機会を設定するようにする。なお，県が実施している研修等との連携を図り，本市研修を精選し，研修の機会や研修内容の整理を行っている。

（１）基本研修

1 職階に応じた研修

信頼される学校・園づくりに取り組むために，教職員の資質向上や学校の組織力向上に取り組むため職階に応じた研修を実施する。特に，管理職の大量退職に伴う新任管理職に向けた研修（新任教頭研修）を充実させる。

2 職務に応じた研修

本市の現状を踏まえ喫緊の課題である学校の中核となる教員の育成をねらいとした，学校運営，研究推進，生徒指導，学力向上，危機管理といった多様な資質の向上

を図る研修をはじめとする職務に応じた研修を実施する。また，主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業改善の推進をねらいとした研修を実施する。

3 教職年数に応じた研修

教職員の資質向上を目指し，教職経験年数に応じた研修を実施する。初任者研修では，中核市としての利点を活かし，授業力の育成を重点化した内容の充実を図る。さらに，１年目研修に引き続き，２年目，３年目とグループでの授業実践研修を重ね，連続する３年間で「授業で勝負できる教員」の育成を目指す。

4　研修の充実と精選

充実させる研修は新しい学習指導要領に伴う研修であり，具体的には，基本研修である道徳教育推進教師研修や外国語担当者研修について，内容や方法を拡充する。また，その他の研修においても，学習指導要領の内容をできる限り網羅していく。

次に，精選する研修としては，基本研修の中の教職年数に応じた研修を中心に整理した。具体的にはこれまで市独自で行っていた７年目研修と２０年目研修については廃止する。また，平成３２年度には，４年目研修で実施していた異校種交流研修を２年目に完全移行し，それに伴って，２年目で実施していたマンツーマン研修を廃止する。

（２）専門研修

1 教育課題等への対応研修

人権教育，インクルーシブ教育，食育に関する研修やいじめ防止・不登校児童生徒支援，特別支援教育に関する子ども理解のための研修，プログラミング教育，情報モラル，校務支援システムの活用等の情報教育に関する研修など，教育課題の対応に資する研修を実施する。

2 教科等の指導力向上を目指した研修

教科等の指導力向上および園児・児童・生徒の学びに向かう力・人間性等の育成および学力の向上等を目指し，各教科等における主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現に向けた保育・授業づくりに関する研修を実施する。マイスター教員を含む新たな指導教員制度による,指導教員を講師として活用した研修など,若手教員に教育技術の伝達を図る研修を実施する。

（３）特別に実施する研修

年間計画に当初より予定している研修の他に，緊急性や必要性のある研修を学校園のニーズに応えて随時研修を実施する。また，昨年度と同様に指導員・指導主事を対象にした研修を年間２回程度実施する。

3　具体的な取り組み

1　教職員の資質向上

教職員の資質向上を目指すため，３つの「尼崎市が求める教員の素養」を掲げ研修に取り組む。

（１）あふれる情熱と責任感

子どもに対するあふれる情熱と責任感のある教師

・　校長や教頭などの職務，職階に対応した研修
・　子ども理解のための研修（いじめ防止・不登校児童生徒支援や特別支援教育など）
・　養護教諭，栄養教諭・学校栄養職員，学校事務職員などの職責を遂行するための研修
・　人権問題について学ぶための研修

（２）確かな授業力・指導力・専門性

「わかる授業」を徹底して追究する確かな授業力を持った教師
・　授業力向上のために授業研究を中心とした研修の充実
・　教科の指導力向上をめざした研修の充実
・　若手教員に教育技術の伝達を図る研修の充実（指導教員による研修，公開授業等）
・　保，幼，小，中，特別支援，高等学校の教員の交流や連携を図る研修の充実

（３）総合的な人間力

総合的な人間力を高め，時代の変化や教育課題に対応し，柔軟に指導できる教師
・　学校運営の核となるミドルリーダーを養成するための研修
・　小・中学校の教員が互いの授業を公開し協議するなど，指導方法や教材における小・中連携を図る研修の充実
・　地域との連携を図るため，地域を知る研修の充実
・　防災・安全に関する研修
・　教育課題等への対応研修

２　中核市として主体的に研修の充実を図る

中核市として，国や県の動向を考慮しながら尼崎にふさわしい研修を実施していく。

＜初任者研修（法定研修）の充実＞

授業研究を中心に，道徳教育，人権教育，情報教育，防災教育，安全教育，学級経営及び接遇に関することなど，教員として必要な基礎を身に付けることを目指す。

そして初任者教員が尼崎市での教育活動に情熱を注げるように，尼崎市の地域について学習できる研修を実施する。

初任者研修をさらに充実するものとして，１年目研修に引き続き２年目，３年目においてもグループ等での授業実践研修を重ね，連続する３年間で「授業で勝負できる教員」の育成をめざす。

＜中堅教諭等資質向上研修（法定研修）の充実＞

グループによる教科指導や生徒指導の研修から，より実践力を高めるとともに，教育課題を研究することにより専門性を深める。共通研修により，尼崎の課題や展望を見つめ，中堅教員としての意識を高め，今後の教育活動に生かしていく

＜ミドルリーダーを養成する研修の充実＞

ベテラン教員の退職，若手教員の急増に伴う現状から，学校運営の中核的な役割を担うリーダーの育成を目指して，一昨年度から小・中・特別支援学校より推薦された中堅教員を対象としたリーダー養成研修を設定し，学校運営に寄与する人材の資質向上を図っている。具体的には，学校経営，教育法規，学校防災，カリキュラムマネジメント等，今後において管理職の立場を担っていくであろう教員を対象にして，研修を実施している。

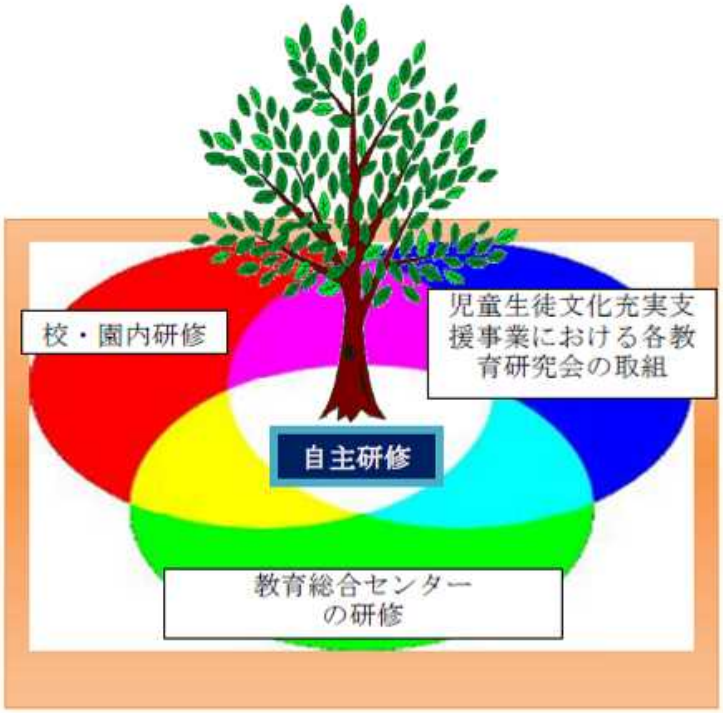
３　学校・園のニーズに応える

研修に参加した教職員へのアンケートの実施，児童生徒文化充実支援事業や教科研究会との連携，他府県や他市からの情報をもとに，研修に対するニーズを考慮したうえで，研修事業に生かしていく。

４　研修をすすめるにあたって

研修には，各校・園の実態に即した「校・園内研修」をはじめ，「教育総合センターの計画的に設定された研修」，その他各教科研究会が主体となって企画・運営されている児童生徒文化充実支援事業における研究等がある。

それらが補完，連携し合って教員の意欲や資質向上を促していく。さまざまな研修の延長線上に，教員自身が進んで学び続ける「自主研修」の学びの根っこや栄養分があるといえる。



１　教育総合センターの研修と校・園内研修の連携

（１）授業力向上等に向けて，教育総合センター　教職員の学び支援課の研修では，様々な講座を開催し，実践的な研修を実施していく。また，受講した教員は，研修内容を校内に持ち帰り，教科部会等において広めることで，多くの教員の授業力向上等をめざす。

（２）授業力向上には，熟練した授業を参観することによる効果は大きい。そのために本市の指導教員が講師になって研修を行う。このほか，授業改善アドバイザーや指導主事等が授業を参観し，授業づくりについて支援を行っていくなど，日々の授業に役立つ取組を実施していく。

（３）研究部会や研究会の成果を，公開授業研究発表会や研究紀要によって広く公開し，研究部員等が校内において研究成果の交流を図るなど，技能や知識の共有化を図る。

（４）わかりやすい授業や校務の情報化を推進していくため，ＩＣＴ活用などの出前研修を校内研修において実施していく。

（５）先進的な取組や研究，優れた教員の実践等の資料収集・情報提供の機能を整備し，必要に応じた情報がすぐに手に入るようシンクタンク機能を高め，学び続ける教員の育成を図る。

２　教育総合センターの研修と自主研修の連携

（１）教員自ら行う自主研修は，資質向上に向けて最もベースとなる活動である。活動グループ，個々のニーズにあった支援の充実を図る。

（２）教育総合センター（ひと咲きタワー３階）の情報コーナーmini において，最新の書籍を含む情報や，これまでに公開された授業の学習指導案を閲覧することができる。また，自主的な研究グループを支援するための研修室を夜間（午後９時）まで開放する。なお，ＡＭＡ－ＮＥＴのホームページより，教員が希望する書籍を申し込むことで，センターに足を運ばなくても書籍を借りることができるようシステムを構築した。教員がホームページから申し込み後に，庁内メールで，書籍がセンターから教員の所属する学校に届けられる。返却についても同様であり，庁内メールが利用できる。

5　研修体系図（略図）　　（別添参照）

教育総合センター（教職員の学び支援課）の研修

基本研修（受講しなければならない研修）	
	職階に応じた研修
	職務に応じた研修
	教職年数に応じた研修

専門研修（希望による研修）	
	教育課題等への対応研修
	教科等の指導力向上をめざした研修

次期学習指導要領の実施に向けた実践研究

自主研修のための支援

特別臨時研修及び国や県が実施する研修

平成30年度　尼崎市教職員研修体系図

基本方針

「一人ひとりを尊重し　互いに支え合う心豊かなたくましい人づくりをめざす」の実現をめざし、次代を担う子どもたちの学びを支える教職員の資質向上を図るため、体系的・組織的な研修を推進する。

尼崎市が求める教員の素養

① あふれる情熱と責任感　　②確かな授業力・指導力・専門性　　③総合的な人間力

経験年数（年目）　1　2　3　4　5　10　15　20　25　30　35

キャリア段階

- **第1期**＜1～5年目＞ 実践的な指導力を伸ばす
- **第2期**＜6～20年目＞ 職務に応じて専門性を伸ばす
- **第3期**＜21年目～＞ より高い力を身につけ、後進の育成に生かす

基本研修

経験年数や職務・職階に応じて必要な資質・能力の向上を図る。 ※＝国や県が定める研修

教職年数に応じた研修

※初任者研修（法定研修）／※2年次研修／※3年次研修／4年目研修／※5年次相当研修／※中堅教諭等資質向上研修（法定研修）／※15年次相当研修

職階に応じた研修

- 校・園長研修
- 新任校・園長研修
- 教頭研修
- 幼稚園教頭研修
- 新任教頭研修
- 新任管理職PC研修
- 指導主事研修

職務に応じた研修

- リーダー養成研修
- 養護教諭研修
- 栄養教諭 学校栄養職員研修
- 道徳教育推進 教師研修
- 外国語活動 担当者研修
- 特別支援 コーディネーター研修
- 学校事務職員研修
- 教育用コンピュータ 管理担当研修
- 就学前教育研修
- 管外転入教員研修

専門研修

教科、領域等の指導に必要な資質・能力の向上を図る。

教育課題等への対応研修

- 教育課程に関する研修講座
- 幼児・児童・生徒に関する研修講座
- 一般教養に関する研修講座
- 教育の情報化に関する研修講座

教科等の指導力向上をめざした研修

- 国語科教育研修講座
- 図書館教育研修講座
- 社会科教育研修講座
- 算数科教育研修講座
- 数学科教育研修講座
- 理科教育研修講座
- 音楽科教育研修講座
- 体育科教育研修講座
- 技術科教育研修講座
- 家庭科教育研修講座
- 道徳教育研修講座
- 総合的学習研修講座
- 特別活動研修講座
- 図工・美術科教育研修講座
- 大学と連携した英語指導力向上研修講座
- 外国語活動・英語科教育研修講座
- アプローチ・スタートカリキュラム研修講座
- 幼児教育研修講座

教科等研究会との連携による講座の開設

先進的研究・自主研修

常に学び続ける姿勢をもち、先進的な課題へ挑戦する。

次期学習指導要領の実施に向けた実践研究

自主研修のための支援

教育情報システム

- ○あまネットシステム
- ○教育・研修資料等の情報提供
- ○指導案・ワークシート等のデータベース化による授業実践および先進的研究の発信
- ○「教育あまがさき」「教育総合センターだより」の発刊

教育資料の収集・貸出

- ○教育総合センター情報資料室における教育資料の収集整理・情報提供・貸出

センター研究部会

- ◆国語科教育AL部会【小】
- ◆算数科教育AL部会【小】
- ◆アクティブ・ラーニング授業実践部会【中】
- ◆外国語活動・英語科教育研究部会
- ◆道徳教育研究部会

学びの先進研究サポート事業

- ○自主研究グループの活動支援
- ○先進地域への短期派遣研修

指導教員制度（マイスター教員制度）

特別臨時研修及び国や県が実施する研修

- ・管理職研修（国）
- ・独立行政法人教職員支援機構研修（国）
- ・主幹教諭研修（県）
- ・兵庫教育大学派遣（国）
- ・道徳教育実践研修（県）
- ・学級経営研究会（県）
- ・生徒指導担当教員等研修会（県）
- ・幼稚園教育理解推進研修会（県）
- ・キャリア教育担当教員実践研修（県）
- ・英語教育地区別研修（県）
- ・人権教育研修会（県）
- ・防災教育研修会（県）
- ・特別支援教育研修会（県）
- ・情報教育研修会（県）
- ・学校・園のニーズに応えて実施する研修（市）
- ・他課との連携して実施する研修（市）
- ・初任者研修の一部（県）
- ・拠点校指導教員研修会（県）
- ・その他喫緊の課題（市）

キャリア段階を問わず実施する研修　等

6　教育総合センター研修一覧表

※研修内容は予定です。

種別	中分類	新設◎ 再編☆	平成30年度　研修・研修講座名		獲得を目指す資質 責任感・情熱	授業力	専門性	対応力	内容・領域	対　象	対象校種
受講しなければならない研修（基本研修）	職階に応じた研修		校・園長研修		○			○	学校経営課題研修	校・園長	全校種
			新任校・園長研修		○			○	校・園長の職務	新任校・園長	全校種
			教頭研修(1)		○			○	学校経営課題（教員の育成　OJT）	教頭	全校種
			教頭研修(2)		○			○	幼稚園教頭対象	幼稚園教頭	幼稚園
		☆	新任教頭研修		○			○	新任教頭としての心構え	新任教頭	全校種
			新任管理職コンピュータ研修				○		ネットワークを利用した校務処理	新任校長・教頭	全校種
	職務に応じた研修		リーダー養成研修（シリーズ研修）	第１回	○		○	○	【心構え】	各校より専任	小・中・特
				第２回	○	○	○		【研究推進】		
				第３回	○		○	○	【教育法規】		
				第４回	○	○	○		【学力向上】		
				第５回	○		○	○	【危機管理】		
			就学前教育研修	第１回			○	○	就学前教育について【理論編】	幼稚園，保育園，保育所等の教職員および小学校教員	幼稚園 保育園 保育所 小学校
				第２回			○	○	就学前教育について【実践編】		
			養護教諭研修				○		養護教諭の職務等に関する研修	養護教諭	全校種
			栄養教諭学校栄養職員研修　※食育研修講座を兼ねる				○		栄養教諭の職務等に関する研修	栄養教諭・学校栄養職員	全校種
		☆	道徳教育推進教師研修 ※道徳教育研修講座を兼ねる	第１回		○	○		道徳授業実践研修	道徳教育推進教師	全校種
		☆		第２回		○	○		道徳授業実践研修		全校種
		◎	外国語活動担当者研修	第１回		○	○		外国語授業実践研修	外国語教育推進教師	小学校
		◎		第２回		○	○		外国語授業実践研修		
			特別支援教育コーディネーター研修				○		特別支援教育の充実を図るための研修（実践交流）	担当教員	全校種
			学校事務職員研修				○		学校事務職員の実務について	学校事務職員	全校種
			教育用コンピュータシステム管理担当研修				○		教育用コンピュータシステムの管理と運用	担当教員	小・中・高・特
	教職年数に応じた研修		１年目教員必修研修	第１回	○		○	○	尼崎の教育，接遇について，ICT	1年目教員必修研修対象者	小・中・特
				第２回	○			○	生徒指導、外国語の指導、教科の指導①		
				第３回	○			○	校務支援、学習指導、学級集団づくり		
				第４回		○	○		授業のユニバーサルデザイン化、尼崎養護学校の授業参観		
				第５回	○		○	○	情報モラル、教科の指導②		
				第６回			○		学級経営、授業実践研修①		
				第７回	○		○		特別活動、教科の指導②、授業実践研修②		
				第８回		○			尼崎の地域、教科の指導③		
				第９回			○		救急救命法、教科におけるICTの活用		
				第10回			○	○	学校事故、尼崎の人権教育		
				第11回			○		授業実践研修③		
				第12回	○		○		教育相談、「特別の教科　道徳」の指導		
				第13回	○		○		他業種に学ぶ、教科の指導④		
				第14回	○		○		1年目教員研修の成果と課題、2年次研修に向けて		
		☆	教職経験者（２年次）研修	共通研修		○	○	○	ストレスマネジメント，授業づくり，グループ授業実践研修①	2年目教員	小・中
				グループ		○			グループ授業実践研修②（指導案，レポート等をもとに実践交流）		
				グループ		○			グループ公開授業研修③（代表者による公開授業，事後研究会）		
				選択研修		○			教職員の学び支援課が指定した研修から3講座を受講		
				選択研修		○					
				個人		○			異なる校・園種との連携（授業参観，TTによる授業実践研修 等）		
		☆	教職経験者（３年次）研修	共通研修		○	○	○	生徒指導，授業づくり等について，グループ授業実践研修①	3年目教員	小・中
				グループ		○			グループ授業実践研修②（指導案，レポート等をもとに実践交流）		
				グループ		○			グループ公開授業研修③（代表者による公開授業，事後研究会）		
				選択研修		○			「教科等の指導力向上をめざした研修」から1講座を受講		
		☆	４年目教員研修（平成３２年度に廃止）	個人		○			異なる校・園種との連携（授業参観，TTによる授業実践研修 等）	4年目教員	小・中
			５年次相当教員研修	選択研修		○	○	○	希望による研修講座から1日分（半日は2つで1日とする）選択	5年目教員（5年次相当教員）	小・中・特
				選択研修		○	○	○			
			中堅教諭等資質向上研修	共通研修			○		尼崎の今日的課題に取り組む，ミドルリーダーの自覚に関する内容	10年経験者教員（11年目教員）	小・中・特
				グループ		○			教科指導少人数グループ研修		
				グループ			○	○	生徒指導少人数グループ研修		
				選択研修		○	○		教職員の学び支援課が指定した研修から受講		
			１５年次相当教員研修	選択研修		○	○	○	希望による研修講座から1日分（半日は2つで1日とする）選択	15年目教員（15年次相当教員）	小・中・特
				選択研修		○	○	○			
			管外転入教員研修		○		○		本市の課題とこれまでの取り組み	管外転入教員	全校種

種別	中分類	新設◎☆再編	平成30年度　研修・研修講座名		獲得を目指す資質 情熱・責任感	授業力	専門性	対応力	内容・領域	対　象	対象校種
希望による研修（専門研修）	教育課題等への対応研修		人権教育研修講座	1			○	○	LGBTを学ぶ	全教職員	全校種
				2			○	○	これからの人権教育		
				3			○	○	多文化共生を考える		
			一般教養研修講座				○		民間で活躍する人に学ぶ	全教職員	全校種
			学校飼育動物研修講座				○		飼育動物の取り扱いについての留意点	全教職員	幼・小・特
			情報モラル・セキュリティ入門研修講座				○		情報モラル・セキュリティ入門	全教職員	全校種
			校務支援システム活用研修講座（初級）	小学校			○		各種名簿作成，日々の様子，生徒指導等	全教員	小・特
				中学校			○				中・特
			校務支援システム活用研修講座（上級）	小学校			○		成績処理，通知表作成，要録作成等	全教員	小・特
				中学校			○		成績処理，通知表作成，面談資料，調査書等	全教員	中・特
		☆	小学校ＩＣＴ活用研修講座	1		○	○		コンピュータ室の機器及びソフトウエアの活用	全教員	小・特
				2		○	○				
			中学校ＩＣＴ活用研修講座			○	○				中・特
			プログラミング教育研修講座			○	○		プログラミング教育について	全教職員	全校種
			食育研修講座　※栄養教諭栄養職員研修を兼ねる				○		子どもの食に関する課題解決に向けた研修	全教職員	全校種
			子ども理解のための研修講座	1			○	○	生徒指導，不登校児童生徒支援について	全教職員	全校種
				2			○	○	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応研修		
			インクルーシブ教育研修講座				○	○	特別支援教育，インクルーシブ教育の充実を図るための研修	全教員	全校種
			学級集団づくり研修講座　学級経営	1	○		○	○	学級経営の基本を学ぶ	全教員	全校種
			学級集団づくり研修講座　野外活動体験	2			○	○	野外活動に関する体験研修 （講師：美方少年自然の家から出張講師）	全教員	全校種
	教科等の指導力向上を目指した研修	☆	道徳教育研修講座 ※道徳教育推進教師研修を兼ねる	第１回		○	○		道徳授業実践研修	全教員	全校種
				第２回		○	○		道徳授業実践研修		全校種
			国語科教育研修講座	1		○			（小学校教員向け）主体的・対話的で深い学びの充実に向けて	小学校	小学校
				2		○	○		書教育の充実に向けた授業について	全校種	全校種
				3		○			（中学校教員向け）主体的・対話的で深い学びの充実に向けて	中学校	中学校
			社会科教育研修講座			○			社会科の授業で培う力	全教員	全校種
			図書館教育研修講座			○	○		学校における多様な読書活動の展開	全教員	全校種
			算数科教育研修講座			○			（小学校教員向け）主体的・対話的で深い学びの充実に向けて	全教員	全校種
			数学科教育研修講座			○			（中学校教員向け）主体的・対話的で深い学びの充実に向けて	全教員	全校種
			理科教育研修講座			○			実験や観察で気をつけたいこと	全教員	全校種
			アプローチ・スタートカリキュラム研修講座 （幼児期と児童期の接続期教育研修講座）	1		○			（生活科に関すること）　生活科授業デザインの方法とその実際	全教員	全校種
				2		○			（造形に関すること）　色・形・手触りを楽しむ	全教員	全校種
				3		○			（音楽に関すること）　音を楽しむ		
		◎	幼児教育研修講座			○			幼児期の子どもの特性をとらえた教育について		
			音楽科教育研修講座			○			表現と鑑賞の指導について	全教員	全校種
			図工・美術科教育研修講座			○			造形活動に関する講話および実技演習	全教員	全校種
			体育科教育研修講座	1		○			（小学校教員向け）リズムダンスの指導のポイント	全教員	全校種
				2		○			（中学校教員向け）武道の指導のポイント		
			外国語活動・英語科教育研修講座			○			小・中つながりのある英語教育	全教員	全校種
			大学と連携した英語指導力向上研修講座			○			大学と連携した英語指導力向上事業受講者による公開授業等	全教員	全校種
			総合的な学習研修講座			○			新学習指導要領に向けて	全教員	全校種
			特別活動研修講座			○	○		学級活動の指導のあり方	全教員	全校種
			技術科教育研修講座			○			学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善	全教員	全校種
			家庭科教育研修講座			○			学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善	全教員	全校種
			マイスター教員による公開授業研修講座 （小学校教員による授業） （中学校教員による授業）	1		○			公開授業、事後研修会	全教員	全校種
				2		○			公開授業、事後研修会		
				3		○			公開授業、事後研修会		
				4		○			公開授業、事後研修会		
				5		○			公開授業、事後研修会		
				6		○			公開授業、事後研修会		
				7		○			公開授業、事後研修会		
				8		○			公開授業、事後研修会		
特別に実施する研修	臨時研修		特別臨時研修						課題に対応した研修（1）		
									課題に対応した研修（2）		
									課題に対応した研修（3）		
									課題に対応した研修（4）		

研究部会	研究部会		国語科教育アクティブ・ラーニング部会研修	全８回		○	○		国語科で創る主体的・対話的で深い学び　等	各校より専任	小学校
			算数科教育アクティブ・ラーニング部会研修	全８回		○	○		算数科で創る主体的・対話的で深い学び　等		小学校
			中学校アクティブ・ラーニング授業実践部会研修	全７回		○	○		中学校アクティブ・ラーニング型研修　等		中学校
			外国語活動・英語科教育研究部会			○	○		新学習指導要領に対応した授業　等		小・中・特
			道徳教育研究部会			○	○		新学習指導要領に対応した授業　等		小・中・特
			教育総合センター研究発表会			○	○		各研究部会による公開授業等	全教員	全校種

7　教職員研修計画内容

※研修内容は予定です。

1　受講しなければならない研修（基本研修）

（１）職階に応じた研修（職階別研修）

研修・講座名	実施時期	目　的	内容（研修テーマ等）	対　象	備考
校・園長研修	5/31	管理職として，広い視野と洞察力の上に立って今後の学校経営の在り方を考える。	学校経営課題研修	校長 園長	講話
新任校・園長研修	6月	管理職としての職務（学校経営，管理運営，職員育成）について理解を深め，望ましい学校・園経営の在り方を考える。	新任校・園長としての心構え	新任校長 新任園長	講話
教頭研修(1)	未定	管理職としての職務について理解を深め，効果的な学校経営の在り方を考える。	学校経営課題研修	教頭	講話
教頭研修(2)	未定	教頭としての心構えや園の経営について研修し，幼稚園経営の充実を図る。	教頭としての心構え	幼稚園 教頭	講話
新任教頭研修	定例教頭会終了後等	管理職としての基礎的な実務について理解を深める。	新任教頭としての心構え・実務	新任教頭	講話
新任管理職コンピュータ研修	4月	情報社会に対応した基本的資質と指導力を養うとともに，尼崎市学校情報通信ネットワークシステムの有効利用を図る。	ネットワークを活用した校務処理	新任校長 新任教頭	演習

（２）職務に応じた研修（職務別研修）

研修・講座名		実施時期	目　的	内容（研修テーマ等）	対　象	備考
リーダー養成研修	第1回	未定	学校全体をコーディネートする力やリーダーシップの向上を図る。	【学校経営】	小・中・特各校より専任	講話及び演習
	第2回			【学力向上】		
	第3回			【教育法規】		
	第4回			【研究推進】		
	第5回			【危機管理】		
就学前教育研修	第1回	未定	小学校就学前の教育について知り，指導力を高める。	就学前教育について【理論編】	就学前教育に携わる幼稚園，保育園，保育所等の教職員および小学校教員	講話
	第2回	未定	就学前教育の具体的な内容について理解を深め，指導力の向上を図る。	就学前教育について【実践編】		
養護教諭研修		未定	学校保健の中核的役割としての職務を理解し，現代的な健康課題への対応力を高める。	養護教諭の課題解決に向けた研修	養護教諭	講話
栄養教諭研修 ※食育研修講座を兼ねる		未定	子どもの食に係る課題を認識し，理解を深めるとともに，食育の指導力を高める。	課題解決に向けた研修	栄養教諭 学校栄養職員	講話
道徳教育推進教師研修 ※道徳教育研修講座を兼ねる	第1回	5/11	道徳の教科化に向けての授業づくりを踏まえた教員の指導力を高める。	道徳授業実践研修	道徳教育推進教師	講話及び演習
	第2回	9/10				
外国語活動担当者研修	第1回	未定	外国語の教科化に向けての授業づくりを踏まえた教員の指導力を高める。	外国語授業実践研修	外国語教育推進教員	講話
	第2回	未定				
特別支援教育 コーディネーター研修 ※インクルーシブ教育研修講座を兼ねる		未定	特別支援教育についての理解を深め，コーディネーターとしての指導力の充実を図る。	支援が必要な子どもの、通常の学級における指導・支援の具体的な手立て	特別支援教育コーディネーター	講話
学校事務職員研修		未定	財務会計システムの使用について，共通認識をもつとともに，疑問点を解決する。	財務会計システムの運用について	学校事務職員	講話
教育用コンピュータシステム管理担当研修		未定	教育用コンピュータシステムについて理解を深めるとともに，管理と運営に関する知識や技術を習得する。	教育用コンピュータシステムの管理と運用	小・中・高・特別支援学校の教育用コンピュータ管理担当教員	講話及び演習

時期学習指導要領の実施に向けた実践研究

研修・講座名		実施時期	目　　的	内　　容	対　象	備考
小学校国語科教育 アクティブ・ラーニング 部会研修	全8回	6/7 7/27 8/3 8/22 2/26 他	国語科に関する理解を深め，指導内容と方法について研修し，授業力の向上を図る。	国語科で創る 主体的・対話的で深い学び	小学校 各校より専任	講話及び演習
小学校算数科教育 アクティブ・ラーニング 部会研修	全8回	7/6 7/27 8/2 8/22 2/8 他	算数科に関する理解を深め，指導内容と方法について研修し，授業力の向上を図る。	算数科で創る 主体的・対話的で深い学び	小学校 各校より専任	講話及び演習
中学校 アクティブ・ラーニング 授業実践部会研修	全7回	未定	課題の発見・解決に向けた主体的・協同的に学ぶ学習の効果的な活用により、教員の授業力向上を図る。	中学校アクティブ・ラーニング型研修　等	中学校 各校より専任	講話及び演習
外国語活動・英語科教育研究部会		未定	外国語活動・英語科教育に関する理解を深めるとともに、特に外国語活動については教科化に向けた指導方法の確立を図る。	教科化に向けた外国語授業の構築	小・中学校より専任	講話及び演習
道徳教育研究部会		未定	児童生徒に対して考え議論させる指導方法について研修し、授業力の向上を図る。	児童生徒に考え議論させることを通して心に響く授業の構築	小・中学校より専任	講話及び演習

（３）教職年数に応じた研修（経験年数別研修）

研修・講座名		実施時期	目　　的	内容（研修テーマ等）	対　象	備考
１年目教員必修研修	第１回	4/24	本市の教員としての自覚を促し，教員としての資質・技能の向上と実践への意欲を高める。	尼崎の教育，接遇について，ＩＣＴ	幼・小・中・高・特別支援学校の初任者研修対象者	講話及び演習
	第２回	5/22		生徒指導，，外国語の指導， 教科の指導①	小・中学校の初任者研修対象者	
	第３回	5/29		校務支援， 学習指導の基礎と学習集団づくり		
	第４回	6/5 6/12		授業のユニバーサルデザイン化， 尼崎養護学校の授業参観		
	第５回	6/19		情報モラル教育，教科の指導②		
	第６回	7/3		学級経営，授業実践研修①		
	第７回	7/30 7/31		特別活動，教科の指導②， 授業実践研修②	小・中・特別支援学校の初任者研修対象者	
	第８回	9/11		尼崎の地域 教科の指導③	小・中学校の初任者研修対象者	
	第９回	9/18		救命救急法，体験研修、 教科指導におけるICTの活用		
	第10回	10/2		学校事故， 尼崎の人権教育		
	第11回	11/20 11/27 12/4		授業実践研修③	小・中・特別支援学校の初任者研修対象者	
	第12回	1/15		カウンセリングマインド に基づいた教育相談， 「特別の教科　道徳」の指導	小・中学校の初任者研修対象者	
	第13回	2/5		他業種に学ぶ，教科の指導④		
	第14回	2/12		１年目教員研修の成果と課題， ２年次研修に向けて		

研修・講座名	実施時期	目　　的	内容（研修テーマ等）	対　象	備考
教職経験者（２年次）研修	5/30	初任者研修の成果を踏まえ、基本的な指導技法の活用しながら授業を充実させる力の習得を図るとともに、心の健康を保ちつつ学び続ける教員としての基礎となる資質の向上に資する。	ストレスマネジメント 研修の概要，授業づくり グループ授業実践研修①	小・中学校の２年目教員	講話
	6月～2月		グループ授業実践研修② グループ授業実践研修③ （公開授業）		授業
			教科等の研修講座を３つ選択して受講する		講話及び演習
			異なる校・園種との連携 （TTによる授業及び実践等）		授業
教職経験者（３年次）研修	6/18	初任者研修、教職経験者（２年次）研修の成果を踏まえ、児童生徒理解に基づき意図的・計画的に生徒指導を行う力の習得を図るとともに、課題意識に基づく授業の工夫改善とカリキュラムを構想する力の習得を図り、学び続ける教員としての資質向上に資する。	生徒指導について 研修の概要、授業づくり等 グループ授業実践研修①	小・中学校の３年目教員	講話及び演習
	6月～2月		グループ授業実践研修② 実践交流、指導案の検討 等		授業
			グループ授業実践研修③ 公開授業、事後研究会		授業
			教科等の研修講座を1つ選択して受講する		講話及び演習
４年目教員研修 （異校・園種交流研修）	6月～2月	異なる校・園種の子どもや教職員との連携を図ることにより，他校・園種の教育活動を学ぶ。	異なる校・園種との連携 （TTによる授業及び実践等）	幼・小・中・高・特別支援学校の４年目教員	授業
５年次相当教員研修	通年	これまでの教育実践を踏まえ，指導力向上を図るとともに各自の課題を把握し今後の教員生活の充実に資する。	希望による研修講座から１日分を選択して受講する	小・中・特別支援学校の５年目教員（養護及び栄養教諭含）及び希望対象者	講話及び演習
中堅教諭等資質向上研修	5/9	個々の能力や適性，ニーズに応じて研修を実施し，指導力向上など教員としての資質の向上を図る。	共通研修 「尼崎の今日的課題」	小・中・特別支援学校の10年経験者(11年目)	
	5月～2月		教科指導少人数グループ研修		
	9/4 9/5		生徒指導少人数グループ研修		
	5月～2月		選択研修 任意の研修を選択		
１５年次相当教員研修	通年	中堅教員として多様化する教育課題に適切に対応できる広い視野と実践的指導力を身につける。	希望による研修講座から１日分を選択して受講する	小・中・特別支援学校の１５年目教員（養護及び栄養教諭含）及び希望対象者	
管外転入教員研修	未定	本市の教育の現状と課題について理解し，実践への意欲と教員としての自覚を高める。	本市の教育課題とこれまでの取組	管外転入教員	講話

２ 希望による研修（専門研修）

（１）教育課題等への対応研修

研修・講座名		実施時期	目　　的	内容（研修テーマ等）	対　象	備考
人権教育研修講座	1	夏期	教育の本質に根ざした人権教育を推進するため，人権にかかわる教育課題に対する理解を深め，指導力の向上を図る。	ＬＧＢＴを学ぶ	全教職員	講話及び演習
	2	夏期		これからの人権教育		
	3	夏期		多文化共生を考える		
一般教養研修講座		夏期	社会の動向等，教育界だけでなく他の領域の知恵に学び，視野を広げる。	民間で活躍する人に学ぶ		
学校飼育動物研修講座		6/25	学校・園内での飼育動物について，管理や繁殖，施設や環境を知り，幼児・児童によりよい体験を与える環境について学ぶ。	飼育動物の取り扱いについての留意点		
情報モラル・セキュリティ入門研修講座		夏期	学校・園内での情報資産の管理や、情報モラル教育における喫緊的課題について学ぶ。	情報モラル・セキュリティ入門		
校務支援システム活用研修講座（初級）	小学校	夏期	校務支援システムの活用方法の基礎を習得し，効率的に業務の遂行を図る。	スズキ校務による名簿作成・日々の様子等について		
	中学校	夏期				
校務支援システム活用研修講座（上級）	小学校	夏期	校務支援システムの活用方法を習得し，効率的かつ円滑な業務の遂行を図る。	スズキ校務による成績処理，通知表作成，要録作成等について		
	中学校	夏期		スズキ校務による成績処理，通知表作成，面談資料等について		
小学校ＩＣＴ活用研修講座	1	夏期	授業においてＩＣＴを効果的に活用する方法について研修し，指導力向上を図る。	コンピュータ室の機器及びソフトウェアを活用した授業について		
	2	夏期				
中学校ＩＣＴ活用研修講座		夏期				
プログラミング教育研修講座		夏期	プログラミング教育の概要について理解を深める	プログラミング教育の概要		
食育研修講座 ※栄養教諭研修も兼ねる		夏期	子どもの食に係る課題を認識し，理解を深めるとともに，食育の指導力を高める。	課題解決にむけた研修		
子ども理解のための研修講座	1	夏期	児童生徒の問題行動や不登校の児童生徒の実態を把握し，支援の在り方について理解を深める。	生徒指導，不登校児童生徒支援について		
	2	7/26	教育的支援を要する子どもたちの教育における理論と実践について，理解を深める。	特別な支援を必要とする子どもの理解		
インクルーシブ教育研修講座		夏期	特別な支援を必要とする子どもたちに対する理解を深めるとともに，具体的な事例を通して，実践的な対応力の向上を図る。	支援が必要な子どもの、通常の学級における指導・支援の具体的な手立て		
学級集団づくり研修講座 学級経営	1	6/21	子どもたちの学校生活の居場所となる学級の経営について理解を深め，学級力の向上を図る。	学級集団づくりについて		
学級集団づくり研修講座 野外活動体験	2	夏期	体験活動を通して，他者に対する思いうやりの心や協調性などの社会性を育む指導力の向上を図る。	野外活動に関する体験研修 （美方少年自然の家から出張講師）		

（２）教科等の指導力向上をめざした研修

研修・講座名		実施時期	目　的	内容（研修テーマ等）	対　象	備考
道徳教育研修講座 ※道徳教育推進教員研修を兼ねる	1	5/11	道徳の教科化に向けての授業づくりを踏まえた教員の指導力を高める。	道徳授業実践研修	全教職員	講話及び演習
	2	9/10				
国語科教育研修講座	1	8/3	国語科教育についての理解を深め，指導力の向上を図る。	（小学校教員向け）言語活動の充実にむけた授業について		
	2	6/27		書教育について		
	3	夏期		（中学校教員向け）言語活動の充実にむけた授業について		
社会科教育研修講座		夏期	社会科教育についての理解を深め，指導力の向上を図る。	社会科の授業で培う力		
図書館教育研修講座		夏期	子どもの読書習慣の確立や読書指導の充実を図る。	学校における多様な読書活動の展開		
算数科教育研修講座		8/22	新しい教育課題に取り組み，児童の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し，指導力の向上を図る。	（小学校教員向け） 全員参加の算数授業づくり		
数学科教育研修講座		夏期	数学に関する専門性を深めるとともに，生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し，指導力の向上を図る。	（中学校教員向け）主体的・対話的で深い学びの充実に向けて		
理科教育研修講座		夏期	理科に関する専門性を深めるとともに，児童生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し，指導力の向上を図る。	実験や観察で活かせる指導		
アプローチ・スタート カリキュラム研修講座	1	夏期	幼児期と児童期の接続期教育についての理解を深め，保育・授業実践における指導の充実を図る。	幼保小連携教育カリキュラムを生かした保育・授業の展開		
	2	10/25		【造形】（幼保小連携教育）		
	3	未定		【音楽】（幼保小連携教育）		
幼児教育研修講座		夏期	幼児期の子どもの特性について理解を深め保育・授業における指導の充実を図る。	幼児期の子どもの特性をとらえた教育について		
音楽科教育研修講座		夏期	表現・鑑賞の活動を通して，音楽の基礎的な指導技術を学び，指導力の向上を図る。	表現と鑑賞の指導について		
図工・美術科教育研修講座		7/31	図工・美術科に関する専門性を深めるとともに，造形的な創作活動について研修し，指導力の向上を図る。	表現と鑑賞の指導について		
体育科教育研修講座	1	夏期	体育科に関する専門性を深めるとともに，児童生徒の主体的な学習を促す実技指導の技術を身につけ，指導力の向上を図る。	（小学校教員向け）リズムダンスの学習と体育大会		
	2	夏期		（中学校教員向け）武道の指導で気をつけておきたいこと		
外国語活動･英語科教育 研修講座		8/21	英語科指導に関する専門性を深めるとともに，生徒の主体的な学習を促す指導内容と方法について研修し指導力の向上を図る。	英語教育を小中一貫で行うには		
大学と連携した 英語指導力向上研修講座		未定	外国語活動の指導法等についての理解を深め，指導力の向上を図る。	大学と連携した英語指導力向上事業受講者による公開授業等		
総合的な学習研修講座		夏期	「総合的な学習の時間」の目標を踏まえ，学校の実態に応じた学習活動について理解を深め，指導力の向上を図る。	新学習指導要領に対応した総合的な学習の時間について		
特別活動研修講座		夏期	特別活動の指導内容と方法について研修し，指導力向上を図る。	特別活動の指導の在り方		
技術科教育研修講座		夏期	技術科の授業実践を図る技術を習得する。	学習指導要領の改訂と技術科教育の方向性		
家庭科教育研修講座		夏期	家庭科の授業実践を図る技術を習得する。	家庭科教育における主体的･対話的で深い学び		
マイスター教員による 公開授業研修講座 （小学校教員による授業） （中学校教員による授業）		7月～2月	見本となる授業とその研究協議を通して，個々の授業力や指導力を高める。	マイスター教員による 公開授業研修講座		
教育研究発表会		課業期間中	研究成果を発表し，学校・園及び関係機関での研究推進と教育実践の参考に資する。	各研究部会による公開授業等		

8　平成30年度　教育総合センター研修担当分担表

種別	中分類	平成30年度　研修・研修講座名		内容・領域	担当者							
					相方	松本	兒玉	小林	瀧本	後藤	藤井	小谷
受講しなければならない研修（基本研修）	職階に応じた研修	校・園長研修		学校経営課題研修　（危機管理研修）				◎				
		新任校・園長研修		校・園長の職務					◎			
		教頭研修(1)		学校経営課題（教員の育成　OJT）				◎				
		教頭研修(2)		幼稚園教頭対象	◎							
		新任教頭研修		実務に関する対応研修（シリーズ）		◎	◎					
		新任管理職コンピュータ研修		ネットワークを利用した校務処理							◎	◎
	職務に応じた研修	リーダー養成研修（シリーズ研修）	第１回	【学校経営】								
			第２回	【学力向上】								
			第３回	【教育法規】					◎			
			第４回	【研究推進】								
			第５回	【危機管理】								
		就学前教育研修	第１回	就学前教育について【理論編】			◎					
			第２回	就学前教育について【実践編】			◎					
		養護教諭研修		養護教諭の職務等に関する研修		◎						
		栄養教諭　学校栄養職員研修　※食育研修講座を兼ね		栄養教諭の職務等に関する研修					◎			
		道徳教育推進教師研修 ※道徳教育研修講座を兼ねる	第１回	道徳授業実践研究				◎				
			第２回	道徳授業実践研究				◎				
		外国語活動担当者研修	第１回	外国語授業実践研修		◎						
			第２回	外国語授業実践研修		◎						
		特別支援教育コーディネーター研修		特別支援教育の充実を図るための研修(実践交流)			◎					
		学校事務職員研修		学校事務職員の実務について			◎					
		教育用コンピュータシステム管理担当研修		教育用コンピュータシステムの管理と運用						◎	◎	◎
	教職年数に応じた研修	１年目教員必修研修	第１回	尼崎の教育，接遇について，ICT							○	◎
			第２回	生徒指導、外国語の指導、教科の指導①								
			第３回	校務支援、学習指導、学級集団づくり						○	○	○
			第４回	授業のユニバーサルデザイン化、尼崎養護学校の授業参観								
			第５回	情報モラル、教科の指導②								
			第６回	学級経営、授業実践研修①								
			第７回	特別活動、教科の指導②、授業実践研修②		◎		◎				
			第８回	尼崎の地域、教科の指導③								
			第９回	救急救命法、教科におけるICTの活用						○	○	○
			第10回	学校事故、尼崎の人権教育								
			第11回	授業実践研修③								
			第12回	教育相談、「特別の教科　道徳」の指導								
			第13回	他業種に学ぶ、教科の指導④								
			第14回	1年目教員研修の成果と課題、2年次研修に向けて								
		２年次教員研修	共通研修	ストレスマネジメント，授業づくりについて，グループ授業実践研修①	○	○	○	○	◎	○	○	○
			グループ	グループ授業実践研修②（指導案，レポート等をもとに実践交流）								
			グループ	グループ公開授業研修③（代表者による公開授業，事後研究会）								
			選択研修	教職員の学び支援課が指定した研修から2講座を受講								
			選択研修									
			共通研修	異なる校・園種との連携（授業参観，TTによる授業実践研修 等）								
		３年次教員研修	共通研修	生徒指導，授業づくり等について，グループ授業実践研修①	○	○	◎	○	○	○	○	○
			グループ	グループ授業実践研修②（指導案，レポート等をもとに実践交流）								
			グループ	グループ公開授業研修③（代表者による公開授業，事後研究会）								
			選択研修	「教科等の指導力向上をめざした研修」から1講座を受講								
		４年目教員研修（平成３２年度に廃止）	個人	異なる校・園種との連携（授業参観，TTによる授業実践研修 等）					◎			
		５年次相当教員研修	選択研修	希望による研修講座から1日分（半日は2つで1日とする）選択					◎			
			選択研修									
		中堅教諭等資質向上研修	共通研修	尼崎の今日的課題に取り組む，著作権に関する内容					◎			
			グループ	教科指導少人数グループ研修	○	○	○	○		○	○	○
			グループ	生徒指導少人数グループ研修	○	○	○	○				
			選択研修	教科に関する研修講座等から選択								
		１５年次相当教員研修	選択研修	希望による研修講座から1回分を（研修時間が2時間であっても、1日であっても1回分とカウント）選択					◎			
			選択研修									
		管外転入教員研修		本市の課題とこれまでの取り組み			◎					

種別	中分類	平成30年度 研修・研修講座名		内容・領域	担当者							
					相方	松本	兒玉	小林	瀧本	後藤	藤井	小谷
希望による研修（専門研修）	教育課題等への対応研修	人権教育研修講座	(1)	LGBTを学ぶ								
			(2)	これからの人権教育			◎					
			(3)	多文化共生を考える								
		一般教養研修講座		民間で活躍する人に学ぶ				◎				
		学校飼育動物研修講座		小動物の取り扱いについての留意点					◎			
		情報モラル・セキュリティ入門研修講座		モラル・セキュリティ入門							◎	
		校務支援システム活用研修講座（初級）	小学校	各種名簿作成，日々の様子，生徒指導等							◎	◎
			中学校								◎	◎
		校務支援システム活用研修講座（上級）	小学校	成績処理，通知表作成，要録作成等							◎	◎
			中学校	成績処理，通知表作成，面談資料，調査書等							◎	◎
		小学校ＩＣＴ活用研修講座	(1)	コンピュータ室の機器及びソフトウエアの活用							◎	◎
			(2)								◎	◎
		中学校ＩＣＴ活用研修講座									◎	◎
		プログラミング教育研修講座		プログラミング教育について							◎	◎
		食育研修講座　※栄養教諭研修を兼ねる		子どもの食に関する課題解決に向けた研修					◎			
		子ども理解のための研修講座	(1)	生徒指導，不登校児童生徒支援について			◎					
			(2)	特別な支援を必要とする子どもの理解及び対応研修			◎					
		インクルーシブ教育研修講座		特別支援教育，インクルーシブ教育の充実を図るための研修			◎					
		学級集団づくり研修講座　学級経営	(1)	学級経営の基本を学ぶ					◎			
		学級集団づくり研修講座　野外活動体験	(2)	野外活動に関する体験研修 （講師：美方少年自然の家から出張講師　会場はわかば西小）		◎			◎			
	教科等の指導力向上を目指した研修	道徳教育研修講座 ※道徳教育推進教師研修を兼ねる	(1)	道徳授業実践研究				◎				
			(2)	道徳授業実践研究				◎				
		国語科教育研修講座	(1)	（小学校向け）主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業について								
			(2)	書教育の充実に向けた授業について		◎						
			(3)	（中学校向け）主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業について								
		社会科教育研修講座		社会科授業で培う力			◎					
		図書館教育研修講座		学校における多様な読書活動の展開					◎			
		算数科教育研修講座		（小学校教員向け）主体的・対話的で深い学びの充実に向けて	◎							
		数学科教育研修講座		（中学校教員向け）主体的・対話的で深い学びの充実に向けて					◎			
		理科教育研修講座		実験や観察で気をつけたいこと					◎			
		アプローチ・スタートカリキュラム研修講座 （幼児期と児童期の接続期教育研修講座）	(1)	（生活科に関すること） 生活科授業デザインの方法とその実際								
			(2)	（造形に関すること） 色・形・手触りを楽しむ			◎					
			(3)	（音楽に関すること） 音を楽しむ								
		幼児教育研修講座		幼児期の子どもの特性をとらえた教育について					◎			
		音楽科教育研修講座		表現と鑑賞の指導について					◎			
		図工・美術科教育研修講座		造形活動に関する講話および実技演習			◎					
		体育科教育研修講座	(1)	（小学校教員向け）リズムダンスの指導のポイント				◎				
			(2)	（中学校教員向け）ダ武道の指導のポイント								
		外国語活動・英語科教育研修講座		小・中つながりのある英語教育		◎						
		大学と連携した英語指導力向上研修講座		大学と連携した英語指導力向上事業受講者による公開授業等		◎						
		総合的な学習研修講座		新学習指導要領に向けて				◎				
		特別活動研修講座		学級活動の指導のあり方			◎					
		技術科教育研修講座		学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善			◎					
		家庭科教育研修講座		学習活動を充実させる指導方法の工夫・改善			◎					
研究部会	研究部会	国語科教育アクティブ・ラーニング部会研修	全８回	国語科で創る主体的・対話的で深い学び　等		◎						
		算数科教育アクティブ・ラーニング部会研修	全８回	算数科で創る主体的・対話的で深い学び　等	◎							
		中学校アクティブ・ラーニング授業実践部会研修	全７回	中学校アクティブ・ラーニング型研修　等						◎		
		外国語活動・英語科教育研究部会		新学習指導要領に対応した授業　等								◎
		道徳教育研究部会		新学習指導要領に対応した授業　等				◎				
		教育総合センター研究発表会		各研究部会による公開授業等	◎							
特別に実施する研修	臨時研修	特別臨時研修（指導員・指導主事研修等）		課題に対応した研修（1）	◎							
				課題に対応した研修（2）								
				課題に対応した研修（3）								
				課題に対応した研修（4）								

９　文部科学省・県教育委員会等の実施する研修一覧

主　催	研修名・講座名	対象
文部科学省 独立行政法人 教職員支援 機構研修	中央研修	全校園種教員
	海外派遣研修	
	特別研修	
	英語教育推進リーダー中央研修	
県立特別支援 教育センター	新任特別支援学級担当教員等研修 通級指導教室担当教員等研修	小・中学校の新任特別支援学級担当教員 小・中・高等学校の通級指導教室担当教員
	基礎研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員 等
	応用研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員 等
	サポート研修	幼・小・中・高・特別支援学校教職員 等
	リーダー研修 次世代育成コーディネーター講座	特別支援学校教員，幼・小・中・高等学校の特別支援教育担当教員（市・学校等からの推薦により受講）
県立教育研修所	高等学校初任者研修	平成 30（2018）年度採用高等学校教員 平成 29（2017）年度採用高等学校教員
	高校教員３年次研修講座	平成 28（2016）年度採用高等学校教員
	高等学校中堅教諭等資質向上研修	平成 20（2008）年度採用高等学校教員
	一般研修講座	全校園種教員
	職務研修講座	全校園種教員 平成 30（2018）年度採用 小・中・特別支援学校校長
	自由研修	
	学校経営研修講座	
県教育委員会 阪神教育 事務所　等	学校管理職・教育行政職特別研修	平成 30（2018）年度採用 小・中・特別支援学校教頭
	阪神地区学校経営研究協議会（校長）	小・中・特別支援学校校長
	阪神地区学校経営研究協議会（教頭）	小・中・特別支援学校教頭
	学校管理職（校長）研究協議会	高等学校校長
	学校管理職（教頭）研究協議会	高等学校教頭
	新任校長学校経営研修講座	平成 30（2018）年度採用高等学校校長
	幼稚園等新規採用教員研修	平成 30（2018）年度採用幼稚園教員
	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修 （１０年経験者研修を改称）	平成 20（2008）年度採用幼稚園教員
	養護教諭・栄養教諭経験者研修 （新規採用１０年次）	平成 21 年（2009）年度採用 小・中・特別支援学校の 10 年目養護教諭・栄養教諭
	市町立学校主幹教諭研修会	平成 30（2018）年度登用主幹教諭
	市町立学校臨時的任用教員及び 任用候補者研修会	臨時的任用教員
	兵庫教育大学大学院派遣	小・中・特別支援・高等学校教員
	大学と連携した英語指導力向上事業	小・中・高等学校（県費）教員

１０　平成２９年度　研修報告

研修受講者の研修アンケートによると，理論的な内容より，実践に即応したような内容の方が評価が高かった。その点，主体的・対話的な授業の構築を目指した小学校国語科教育アクティブ・ラーニング授業実践部会小学校算数科教育アクティブ・ラーニング授業実践部会中学校アクティブ・ラーニング授業実践部会の3部会は2年目を迎え，部会で培った実践的な内容を受講者自身が各所属にフィードバックするなどの活動も見られ，理解度，満足度ともに高いものとなった。また，新指導要領に対応できる教員を育成していくためにプログラミング教育研修講座を新設したり，英語科教育研修講座を外国語活動・英語科教育研修講座へと再編を行った。教科科に向けての外国語活動研修は今年度で最後となり，３年間で尼崎市立小学校のほぼ全ての教員が受講することができた。

１　受講しなければならない研修（基本研修）

（１）職階に応じた研修（職階別研修）

研修・研修講座名	実施日 月	日	曜	研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
校・園長研修	5	2	火	講話	教育行政から見た校・園長の役割	教育総合センター　所長	西川　嘉彦	65
新任校・園長研修	4	25	火	講話	本市における教育のこれまでとこれから	尼崎市教育委員会　教育長	徳田　耕造	16
教頭研修	7	10	月	講話	危機管理（リスクマネジメント）について	尼崎あおぞら法律事務所 弁護士	菊田　大介	66
幼稚園教頭研修	5	12	金	講話	心と言葉が行き届けば、人生が生きる組織が生きる	教育総合センター 授業改善アドバイザー	上玉利　敏昭	9
新任教頭研修	4	17	月	講話	心と言葉が行き届けば、人生が生きる組織が生きる	教育総合センター 授業改善アドバイザー	上玉利　敏昭	16
新任管理職コンピュータ研修	4	17	月	講話 演習	ネットワークを利用した校務処理	教職員の学び支援課　指導員 教職員の学び支援課　指導員	藤井　俊史 小谷　隆宏	16

（２）職務に応じた研修（職務別研修）

研修・研修講座名		実施日 月	日	曜	研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
リーダー養成研修	(1)	5	31	水	講話	教育にエビデンスの視点を	大阪大学　社会経済研究所 教授	大竹　文雄	79
	(2)	7	7	金	講話	学校の危機管理能力を高める －防災教育の視点から－	鳴門教育大学大学院　教授	阪根　健二	55
	(3)	8	7	月	講話	学校改革のキーパーソンになろう	広島県海田町立 海田西中学校　校長	坂口　直美	68
	(4)	8	9	水	講話	学校運営に係る教育法規	職員課　総括	佐野　正信	74
	(5)	12	7	木	講話	校内授業研修マネジメント－相互理解と協働を目指すフレームづくり－	奈良教育大学 次世代教員養成センター　准教授	赤沢　早人	72
就学前教育研修	(1)	11	7	火	講話	幼児期から児童期への なめらかな接続について	鳴門教育大学　教授	木下　光二	105
	(2)	11	7	火					
	(3)	11	29	水	実技 演習	心に向きあうあそび歌	ぞうさん保育園　園長	小倉　げんき	53
	(4)	11	29	水					
教科化に向けての外国語活動研修Ⅰ	(1)	8	9	水	講話	英語教育の教科化を踏まえた国の動向と英語教育の考え方	関西大学　教授	今井　裕之	160
	(2)	8	9	水					37
	(3)	2	6	火					25
教科化に向けての外国語活動研修Ⅱ	(1)	8	3	木	講話 演習	教える自信がつく！ 楽しい外国語活動研修 グループでの実施体験研修	株式会社 ミネルヴァインテリジェンス	所属講師3名	48
	(2)	8	3	木				所属講師3名	30
	(3)	8	4	金				所属講師3名	31
	(4)	8	4	金				所属講師3名	26
	(5)	8	7	月				所属講師3名	61
	(6)	2	6	火				所属講師3名	13
養護教諭研修		2	9	金	講話	ガッテン流！子どもが変わるプレゼン技法 ～演出家的発想法～	元NHKためしてガッテン 演出担当デスク	北折　一	56
栄養教諭研修		2	15	木	講話	生きる力を育む食育の在り方 ～生涯の健康づくりをめざして～	東京聖栄大学　専任講師	田中　広美	43
道徳教育推進教師研修		8	23	水	講話 演習	特別の教科としての道徳の評価・指導	四天王寺大学　准教授	杉中　康平	97
特別支援教育 コーディネーター研修		5	25	木	講話	支援が必要な子どもの、通常の学級における指導・支援の具体的な手立て	関西国際大学　教授	中尾　繁樹	195
学校事務職員研修		5	24	水	講話	財務会計システムを活用するために	学校運営課　係長	阿部　和代	72
教育用コンピュータシステム管理担当研修		4	28	金	講話	教育用コンピュータシステムの管理と運用	教職員の学び支援課　指導員 教職員の学び支援課　指導員	小谷　隆宏 藤井　俊史	47

（3）次期学習指導要領の実施に向けた実践研究

研修・研修講座名		実施日 月	日	曜	研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
国語科教育 アクティブ・ラーニング 授業実践部会	(1)	6	2	金	講話 演習	国語科における主体的・対話的で深い学びとは 地域素材をいかした教材開発	プール学院大学　准教授	今宮　信吾	34
	(2)	7	31	月	講話 演習	授業づくり演習 レポート交流			37
	(3)	7	31	月					
	(4)	7	26	水	講話 演習	新学習指導要領における国語科教育の方向性	京都女子大学　講師	吉永　幸司	84
	(5)	8	29	火	講話 演習	単元構想を創る 単元構想の交流	プール学院大学　准教授	今宮　信吾	35
	(6)	2	14	水	授業参観 講話	公開授業　第2学年の実践 事後研究会・指導助言			8
	(7)	2	21	水	授業参観 講話	公開授業　第4学年の実践 事後研究会・指導助言			18
	(8)	2	27	火	講話 演習	授業実践レポート交流 今年度のまとめと来年度に向けて			37
算数科教育 アクティブ・ラーニング 授業実践部会	(1)	7	7	金	講話 演習	算数科で創る主体的・対話的で深い学び 授業づくり演習	関西大学初等部　教諭	尾﨑　正彦	29
	(2)	8	1	火	講話 演習	算数科で創る主体的・対話的で深い学び 授業づくり演習・指導案演習			38
	(3)	8	22	火	講話	全員参加の算数授業づくり	筑波大学附属小学校　教諭	山本　良和	167
	(4)	8	24	木	講話 演習	授業映像を使った演習 グループによる指導案協議 グループによるプレゼンテーション	関西大学初等部　教諭	尾﨑　正彦	44
	(5)								
	(6)	12	19	火	授業参観 講話	公開授業　第6学年の実践 事後研究会・指導助言			34
	(7)	2	7	火	授業参観 講話	公開授業　第1学年の実践 事後研究会・指導助言			23
	(8)	2	20	火	講話 演習	授業実践レポート交流 今年度のまとめと来年度に向けて			31
中学校 アクティブ・ラーニング 授業実践部会	(1)	5	25	木	講話	アクティブ・ラーニングの概要 アクティブ・ラーニングの先行事例	大阪教育大学大学院 准教授 鳴門教育大学大学院　講師	寺嶋　浩介 泰山　裕	18
	(2)	7	27	木	講話 演習	1学期のアクティブ・ラーニング実践事例報告 良いと思うアクティブ・ラーニングとは			18
	(3)	8	9	木	講話 演習	アクティブ・ラーニングのステップアップ			18
	(4)	9	21	木	講話 演習	校内研修づくりについて			18
	(5)	12	1	金	講話 演習	アクティブ・ラーニングを校内に広めるための工夫			18
	(6)	1	20	金	講話 演習	部会の活動報告			18
	(7)	2	15	水	講話 演習	1年間の成果報告 本年度のまとめと次年度に向けて			18
外国語活動・英語科教育 研究部会（1）		12	18	月	授業参観 講話	公開授業　第5学年の実践 事後研究会・指導助言	関西大学　教授	今井　裕之	17
外国語活動・英語科教育 研究部会（2）		1	30	火	授業参観 講話	公開授業　第6学年の実践 事後研究会・指導助言	関西大学　教授	今井　裕之	31
道徳教育研究部会		2	22	木	授業参観 講話	公開授業　第6学年の実践 事後研究会・指導助言	四天王寺大学　准教授	杉中　康平	23

（4）教職年数に応じた研修（経験年数別研修）

研修・研修講座名		実施日 月	日	曜	研修の形態	テーマ・内容	講師所属・職名	講師名	受講人数
1年目教員必修研修	第1回	4	25	火	講話	接遇教職員としての心構え・服務 尼崎の教育尼崎市のICT環境	HY教育エンタープライズ 代表 教職員の学び支援課 係長 教職員の学び支援課 指導員	橋場 由見子 井上 雅登 小谷 隆宏	79
	第2回小	6	20	火	講話	学習指導の基礎と学習集団づくり 理科の指導・観察実験の指導	七松小学校 教諭 七松小学校 非常勤講師	野川 啓 中田 眞一	26
		6	27	火	講話				26
	2回中	5	23	火	講話	学習指導の基礎（学習指導案の作成） 教科の指導①～学習集団づくり～	教職員の学び支援課 指導主事	田中 かおり	17
	第3回小	5	23	火	講話 演習	校務支援システムの活用 情報モラル教育 教科指導におけるICTの活用①	教職員の学び支援課 指導員	小谷 隆宏	25
		6	27	火	講話 演習				26
	3回中	6	20	火	講話 演習	校務支援システムの活用 教科指導におけるICTの活用	教職員の学び支援課 指導員	藤井 俊史	17
	第4回	6	6	火	講話 演習	尼崎養護学校での授業参観・体験研修 インクルーシブ教育 授業のユニバーサルデザイン化について	尼崎養護学校 校長 尼崎養護学校 教諭 尼崎養護学校 教諭 教育相談・特別支援担当 係長	吉本 稔 竹中 和子 永戸 健史 菊谷 徳洋	36
		9	12	火					33
	第5回	6	13	火	講話	学校事故およびアレルギー疾患への対応について 人権教育について 楽しく豊かな学級・学校生活を創る特別活動とは	学校保健課 指導主事 小学校給食担当 技師 学校教育課 係長 大島幼稚園 園長	馬場 直子 中庭 幸恵 太田 和樹 今村 七美	68
	第6回	7	4	火	講話 授業参観	どの子も輝く学級 授業実践研修①	尼崎市教育委員 武庫南小学校 教諭	仲島 正教 中野 穣	67
	7回小	8	1	火	講話	算数科の指導 授業実践研修②	関西大学初等部 教諭 教職員の学び支援課 指導主事	尾崎 正彦 松本 隆範 他	52
	7回中	8	2	水	講話 演習	特別活動（部活動） 授業実践研修② 中学校1～3年次教科グループ研修 （実践交流・事前研究会）	学校教育課 係長 はつらつ学級 常陽中学校 主幹教諭 南武庫之荘中学校 教諭 教職員の学び支援課 係長 教育総合センター授業改善アドバイザー	橋口 裕司 山岸 秀年 大久保 陽造 高井 知恵 民谷 洋二 大龍 雅子 他	18
	8回小	9	26	火	講話 演習	教育相談について 国語科の指導	教育相談・特別支援担当 係長 プール学院大学 准教授	比嘉 勲 今宮 信吾	51
	8回中	9	26	火	講話 演習	救命救急法体験研修 教科指導におけるICTの活用	教育相談・特別支援担当 係長 大阪教育大学大学院 准教授	比嘉 勲 寺嶋 浩介	16
	9回小	10	3	火	講話	尼崎の歴史 社会体験研修報告会 体育科の指導	地域研究資料館 館長 園田南小学校 教諭	辻川 敦 田本 裕之	51
	9回中	10	3	火	講話	尼崎の歴史 社会体験研修報告会 教科の指導	地域研究資料館 館長 教職員の学び支援課 指導主事 教育総合センター授業改善アドバイザー	辻川 敦 田中 かおり 大龍 雅子 他	17
	10回小	10	24	火	講話 演習	救急救命法 教科等の指導におけるICT活用	尼崎市北消防署 園田分署 教職員の学び支援課 指導員	職員 小谷 隆宏	28
		11	14	火					23
	10回中	11	14	火	講話 演習	救急救命法 教科等の指導におけるICT活用	尼崎市北消防署 園田分署 教職員の学び支援課 指導員	職員 藤井 俊史	17
	第11回小	11	21	火	講話 授業参観	授業実践研修③ 代表者による算数科公開授業 （園和北小学校第4学年）	教職員の学び支援課 指導主事 教育総合センター授業改善アドバイザー	松本 隆範 大川 泰三	15
		11	28	火	講話 授業参観	授業実践研修③ 代表者による算数科公開授業 （武庫北小学校第2学年）			25
		12	5	火	講話 授業参観	授業実践研修③ 代表者による算数科公開授業 （杭瀬小学校第3学年）			11
	第11回中	11	21	火	講話 授業参観	授業実践研修③ 公開授業 事後研究	はつらつ学級 教育総合センター	山岸 秀年 大龍 雅子	6
		11	28	火	講話 授業参観	授業実践研修③ 公開授業 事後研究	教職員の学び支援課 係長 教職員の学び支援課 指導主事	民谷 洋二 田中 かおり	4
		12	5	火	講話 授業参観	授業実践研修③ 公開授業 事後研究	常陽中学校 主幹教諭 教育総合センター授業改善アドバイザー 教育総合センター授業改善アドバイザー	大久保 陽造 木村 啓子 尾崎 一郎	8
	12回	1	16	火	講話	生徒指導について 特別の教科 道徳の指導	生徒指導担当 係長 教職員の学び支援課 指導主事	堀田 宗敬 田中 かおり	68
	13回小	2	6	火	講話 演習	初任者の先生に伝えたいこと『人育ては自分育て』 英語教育の教科化を踏まえた国の動向と英語教育の考え方 教える自信がつく！楽しい外国語活動	京都プラザホテル 代表取締役社長 関西大学 教授 株式会社ミネルヴァインテリジェンス	清水 幸雄 今井 裕之 所属講師	50
	13回中	2	6	火	講話	初任者の先生に伝えたいこと『人育ては自分育て』 授業実践発表	京都プラザホテル 代表取締役社長 教育総合センター授業改善アドバイザー	清水 幸雄 大龍 雅子 他	16
	第14回	2	13	火	講話	評価について（教科指導） 1年目研修の成果と課題 2年次研修に向けて	奈良教育大学 准教授 教職員の学び支援課 指導主事	赤沢 早人 松本 隆範 他	68

研修・研修講座名		実施日 月	日	曜	研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数
2年次教員研修	1回小	6	16	金	講話	わかる授業づくりのポイントを学ぶ グループ授業実践研修	教育総合センター 授業改善アドバイザー 教職員の学び支援課 指導主事	堀川 夫美子 相方 伸二 他	58
	1回中	6	21	水	講話 演習	授業力の向上を図るために 教科グループ授業実践研修	教職員の学び支援課 指導主事 教育総合センター 授業改善アドバイザー	田中 かおり 他 大龍 雅子 他	37
		6	22	木	講話 演習	授業力の向上を図るために 教科グループ授業実践研修			37
	2回小中特	6	30	金	講話	ストレスマネジメントについて ー子どもといっしょに元気になるストレスマネジメントー 生徒指導上の課題解決に向けて ー学校全体で取り組む生徒指導ー	兵庫県スクールカウンセラー 生徒指導担当 指導主事	西本 由美 石本 将史	65
	3回小	通年 各日			演習	授業力向上研修 実践交流と公開授業事前研修	教職員の学び支援課 係長	井上 雅登 他	*
	3回中	8	2	水	講話 演習	教科グループ授業実践研修 実践交流と公開授業事前研修	はつらつ学級 南武庫之荘中学校 教諭 教職員の学び支援課 係長 常陽中学校 主幹教諭 学校教育課 係長 教育総合センター授業改善アドバイザー 教育総合センター授業改善アドバイザー 教育総合センター授業改善アドバイザー	山岸 秀年 高井 知恵 民谷 洋二 大久保 陽造 橋口 裕司 大龍 雅子 木村 啓子 尾崎 一郎	22
	4回小	通年 各日			授業参観 講話	授業力向上研修 公開授業と事後研修	教育総合センター研修担当	井上 雅登 他指導主事	*
	4回中	11 11 12	21 28 5	火	授業参観 講話	教科グループ公開授業研修 公開授業と事後研修	はつらつ学級 南武庫之荘中学校 教諭 教職員の学び支援課 係長 常陽中学校 主幹教諭 学校教育課 係長 教育総合センター授業改善アドバイザー 教育総合センター授業改善アドバイザー 教育総合センター授業改善アドバイザー	山岸 秀年 高井 知恵 民谷 洋二 大久保 陽造 橋口 裕司 大龍 雅子 木村 啓子 尾崎 一郎	22
	希望日により訪問指導				講話	授業力向上研修 マンツーマン研修	教育総合センター授業改善アドバイザー	大龍 雅子 他	*
3年次教員研修	1回小	6	19	月	講話 演習	授業力向上研修 共通研修 （少人数グループ編成等）	教育総合センター授業改善アドバイザー 教職員の学び支援課 係長	中嶋 修一 井上 雅登 他	45
	1回中	6	21	水	講話 演習	共通研修 教科グループ 授業実践研修	教職員の学び支援課 指導主事 教育総合センター授業改善アドバイザー	田中 かおり 他 大龍 雅子 他	37
		6	22	木	講話 演習	共通研修 教科グループ 授業実践研修	教職員の学び支援課 指導主事 教育総合センター授業改善アドバイザー	田中 かおり 他 大龍 雅子 他	37
	2回小	通年 各日			講話 演習	授業力向上研修 実践交流と公開授業事前研修	教職員の学び支援課 指導主事	田中 かおり 他	63
	2回中	8	2	水	講話 演習	授業力向上研修 実践交流と公開授業事前研修	はつらつ学級 南武庫之荘中学校 教諭 教職員の学び支援課 係長 常陽中学校 主幹教諭 学校教育課 係長 教育総合センター授業改善アドバイザー 教育総合センター授業改善アドバイザー 教育総合センター授業改善アドバイザー	山岸 秀年 高井 知恵 民谷 洋二 大久保 陽造 橋口 裕司 大龍 雅子 木村 啓子 尾崎 一郎	22
	3回小	通年 各日			講話 授業参観	授業力向上研修 公開授業と事後研修	教職員の学び支援課 指導主事	田中 かおり 他	63
	3回中	11 11 12	21 28 5	火	講話 授業参観	教科グループ 公開授業研修	はつらつ学級 南武庫之荘中学校 教諭 教職員の学び支援課 係長 常陽中学校 主幹教諭 学校教育課 係長 教育総合センター授業改善アドバイザー 教育総合センター授業改善アドバイザー 教育総合センター授業改善アドバイザー	山岸 秀年 高井 知恵 民谷 洋二 大久保 陽造 橋口 裕司 大龍 雅子 木村 啓子 尾崎 一郎	22
4年目教員研修		通年			講話 授業参観	異なる校・園種との連携 （TTによる授業及び実践等）	異なる校・園種との連携 （TTによる授業及び実践等） 各所属からの担当者を指導教官とする。		*
5年次相当教員研修		通年			講話 演習	授業力・指導力向上研修	各自研修に参加		*
7年目教員研修		2	26	月	講話 演習	たちどまり、そして前進	教職員の学び支援課	入江 やよい	51
10年経験者研修		5	10	水	講話	メンタルヘルスマネジメント 中堅教諭としての自覚とその役割について	教職員の学び支援課 指導主事 教育総合センター授業改善アドバイザー	松本 隆範 上玉利 敏昭	54
		通年 各日			講話	任意の研修を選択（マイスター教員による公開授業研修講座1つは必修）	各自研修に参加		*
15年次相当教員研修		通年			講話	ミドルリーダーとしての資質向上 （今日的な教育課題等）	各自研修に参加		*
20年目教員研修		通年			講話	任意の研修を2つ選択	各自研修に参加		*

２ 希望による研修（専門研修）

（1）教育課題等への対応研修

研修・研修講座名		実施日 月	日	曜	研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数
人権教育研修講座	(1)	7	21	金	講話	LGBTを学ぶ ～誰もが自分らしく生きるために～	NPO法人　LGBTの家族と友人をつなぐ会　理事	いわたに　てるこ	170
	(2)	7	24	月	講話	これからの人権教育　～戦時期に軍需工場で働いていたろうあ労働者について～	尼崎市立地域研究資料館　館長	辻川　敦	91
	(3)	7	28	金	講話	多文化共生を考える　～みんなが幸せに生きる社会をめざして～	NPO法人　他民族共生人権教育センター　理事	文　公輝	92
食育研修講座		2	15	木	講話	生きる力を育む食育の在り方 ～生涯の健康づくりをめざして～	東京聖栄大学　専任講師	田中　広美	43
子ども理解のための研修講座	(1)	8	4	金	講話	生の声からみる”いじめのしくみ”	いじめと戦おう！～対策と克服法～ ホームページ管理人	玉聞　伸啓	55
	(2)	8	3	木	講話	教師も取り組める友だちづくりトレーニング －発達症の児童を中心に－	関西学院大学　教授	有光　興記	81
インクルーシブ教育研修講座		5	25	木	講話	支援が必要な子どもの、通常の学級における指導・支援の具体的な手立て	関西国際大学　教授	中尾　繁樹	195
一般教養研修講座		7	28	金	講話	仕事の携わり方改革	株式会社ビックバレーインターナショナル 代表取締役社長	大谷　和彦	24
学校飼育動物研修講座		6	26	月	講話	学校飼育動物の意義と目的 ～最適な飼育環境について～	尼崎市開業獣医会　会長	田中　律正	10
プログラミング教育研修講座	(1)	8	24	木	講話 演習	プログラミング教育の概要について	畿央大学現代教育研究所 青山学院大学	竹中　章勝	24
	(2)	9	14	木	講話 演習				14
小学校ICT活用研修講座		8	7	月	講話 演習	コンピュータ室の他ぶれと端末及びソフトウェアを活用した授業について	ジャストシステム　インストラクター	屋宜　泰子	13
中学校ICT活用研修講座		7	31	月	講話 演習	コンピュータ室の機器を活用した授業について	教職員の学び支援課　指導員	藤井　俊史	5
校務支援システム活用研修講座（小学校）	初	8	2	水	講話 演習	スズキ校務による名簿作成・成績処理等について	教職員の学び支援課　指導員	小谷　隆宏	8
	上	8	3	木	講話 演習	スズキ校務による成績処理・通知表入力・要録入力について			6
校務支援システム活用研修講座（中学校）	初	7	26	水	講話 演習	スズキ校務による名簿作成・成績処理等について	教職員の学び支援課　指導員	藤井　俊史	6
	上	7	26	水	講話 演習	スズキ校務による面談資料の作成について			4
学級集団づくり研修講座 学級経営		6	8	木	講話 演習	学級経営から学級力へ －RPDCAも活用－	プール学院大学　准教授	今宮　信吾	58
学級集団づくり研修講座 野外活動体験	(1)	7	26	水	講話 演習	野外活動に関する体験研修	尼崎市美方少年自然の家	山下　明美	13
	(2)	7	28	金	講話 演習	野外活動に関する体験研修	尼崎市美方少年自然の家	山下　明美	12

（2）教科等の指導力向上をめざした研修（授業力向上研修講座）

研修・研修講座名		実施日 月	日	曜	研修の形態	テーマ	講師所属・職名	講師名	受講人数
アプローチスタートカリキュラム研修講座（幼児期と児童期の接続期教育研修講座）	(1)	8	28	月	講話	幼保小連携教育カリキュラムを生かした保育・授業の展開	関西国際大学　講師	椋田　善之	30
	(2)	11	14	火	授業参観 講話 演習	公開授業 トイレットペーパー粘土で遊ぼう 講話 図画工作科・表現領域における幼保小連携 演習インクで遊ぼう	小園小学校　教諭	河野　愉平	44
	(3)	8	24	木	講話	保幼小連携から考える教師の役割 ～音楽遊びを主として～	佛教大学　教授	高見　仁志	38
国語科教育研修講座	(1)	7	26	水	講話	新学習指導要領における国語科教育の方向性	元　京都女子大学　教授	吉永　幸司	84
	(2)	8	8	火	講話 演習	メディアを活用した国語科授業	兵庫教育大学大学院　准教授	羽田　潤	45
図書館教育研修講座		8	28	月	講話	子どもと本を学びをつなぐ ー学校図書館の充実に向けてー	帝塚山学院大学・奈良教育大学 非常勤講師	曲里　由喜子	26
社会科教育研修講座		1	25	木	講話 演習	社会科とアクティブ・ラーニング	兵庫教育大学　副学長	米田　豊	17
算数科教育研修講座		8	22	火	講話	全員参加の算数授業づくり	筑波大学附属小学校　教諭	山本　良和	167
数学科教育研修講座		8	8	火	講話	数学的活動を通した指導について	教職員の学び支援課　指導員	藤井　俊史	8
理科教育研修講座		2	16	金	講話	児童生徒が理科の授業を好きになる指導のポイント～新学習指導要領に向けて～	京都文教大学　准教授	大前　暁政	32
音楽科教育研修講座		8	4	金	講話	低・中学年の音楽の授業づくり ～楽しく取り組める歌唱指導～	滋賀県総合教育センター　所長	佐敷　惠威子	58
図工・美術科教育研修講座		8	2	水	演習 講話	【演習】 クレヨンやパスでの造形表現 【講話】 共に創る図工の学びー新指導要領の視点からー	岡山大学大学院　教授	大橋　功	46
体育科教育研修講座	(1)	5	1	月	演習	つなげよう！リズムダンスの学習と体育大会	園田南小学校　教諭 マイスター認定教員	田本　裕之	68
	(2)	8	7	月	演習	誰でもできるダンスの指導方法	一般社団法人　ダンス教育振興連盟　JDAC	岩下　愛 北村　由里子	28
技術科教育研修講座		7	31	月	講話	学習指導要領の改訂と新しい実践の方向性	兵庫教育大学大学院　教授	森山　潤	10
家庭科教育研修講座		8	22	火	講話	家庭科教育における主体的・対話的で深い学び	兵庫教育大学大学院　教授	永田　智子	20
大学と連携した英語指導力向上研修講座	(1)	7	6	木	講話 演習	教師も子どもも楽しくなる外国語活動	難波の梅小学校　教諭	平島　理絵	25
大学と連携した英語指導力向上研修講座	(2)	9	12	火	講話 演習	INTERACTION（相互作用）のエ夫	塚口中学校　教諭	橋本　大悟	19
外国語活動・英語科教育研修講座		8	22	火	講話	英語教育を小中一貫で行うには	大阪教育大学　教授	加賀田　哲也	73
道徳教育研修講座		8	23	水	講話	特別の教科としての道徳の評価・指導	四天王寺大学　准教授	杉中　康平	97
総合的学習研修講座		8	25	金	講話	学校における消費者教育～消費者市民を育む新しい消費者教育とは～	椙山女学園大学　教授 日本消費者教育学会会長	東　珠実	18
特別活動研修講座		7	26	水	講話	"戦略的学級経営"で学級をワンダーランドに！	佐山町立三河小学校　教諭	古川　光弘	53
マイスター教員による公開授業研修講座（小学校教諭による授業）（中学校教諭による授業）	(1)	7	18	火	授業参観 講話 演習	刷り重ねて表そう ～物語から広がる宮沢賢治の世界～	潮小学校　教諭 マイスター認定教員	福田　裕美	21
	(2)	9	8	金		生徒のモチベーションをあげるために	武庫中学校　教諭 マイスター認定教員	岡村 美保子	11
	(3)	10	19	木		授業づくりについて	武庫東小学校　主幹教諭 マイスター認定教員	東田　明子	11
	(4)	10	23	月		公開授業「物語を作ろう」 講話「つけたい力を入れ込んだ単元構成」	水堂小学校　主幹教諭 マイスター認定教員	西尾　鮎子	7
	(5)	11	16	木		公開授業「比例と反比例」 講話「授業づくりについて」	常陽中学校　主幹教諭 マイスター認定教員	大久保　陽造	8
	(6)	11	27	月		新聞を使った授業	大庄北中学校　教諭 マイスター認定教員	中嶋　勝	15
	(7)	1	19	金		公開授業「箏を演奏する」 講話・演習「箏の学習を通して」	成良中学校　教諭 マイスター認定教員	坪井　美津子	4
	(8)	2	20	火		公開授業「サッカー」 講話「授業づくりについて」	園田南小学校　教諭 マイスター認定教員	田本　裕之	20
若手教員のための授業づくり学習会		12	12	水	授業参観 講話	公開授業「詩を楽しもう」（第3学年） 授業研究座談会	授業改善アドバイザー	小笹　雅幸	40
教育研究発表会		各部会で随時			講話 参観	教育総合センター研究発表会	専任講師 ◆プール学院大学　准教授　今宮信吾 氏 ◆関西大学初等部　教諭　尾崎正彦 氏 ◆関西大学 教授　今井裕之 氏 ◆大阪教育大学大学院　准教授　寺嶋浩介 氏 ◆鳴門教育大学大学院　講師　泰山　裕　氏 ◆四天王寺大学　教授　杉中康平 氏 教育総合センター　係長・指導主事・指導員・研究員		*

１１　平成２９年度　教育研究部会の概要報告

１　小学校国語科教育アクティブ・ラーニング部会

国語科における主体的・対話的で深い学びの実現に向けて
― 尼崎の地域素材をいかした教材開発を通して ―

専任講師　　今　宮　信　吾

（プール学院大学教育学部教育学科 准教授）

指導主事　　松　本　隆　範

研 究 員　谷　口　佳　子　（明 城 小）　前　田　智　子　（立花北小）
〃　楠　直　衣　（難 波 小）　葛　原　淳　代　（名 和 小）
〃　森　大　祐　（難波の梅小）　大　平　茉　優　（塚 口 小）
〃　菅　原　咲　樹　（竹 谷 小）　枝　廣　直　樹　（尼崎北小）
〃　古　田　智　代　（下坂部小）　西　尾　鮎　子　（水 堂 小）
〃　森　田　美　紀　（潮　小）　四　方　佑　季　（七 松 小）
〃　笠　原　清　大　（長 洲 小）　山　本　正　貴　（武 庫 小）
〃　杉　村　暖　（清 和 小）　西　村　達　也　（武庫南小）
〃　荒　木　裕　亮　（杭 瀬 小）　立　半　博　満　（武庫南小）
〃　仲　本　恵　理　（浦 風 小）　上　田　篤　（武庫北小）
〃　森　本　祥　一　（金楽寺小）　東　田　明　子　（武庫東小）
〃　鳴　瀬　達　也　（浜　小）　小　寺　修　斗　（武庫庄小）
〃　品　田　雄一朗　（大 庄 小）　山　本　郁　恵　（武庫の里小）
〃　嘉　原　智　子　（成 文 小）　髙　木　千　尋　（園 田 小）
〃　桝　田　小百合　（成 徳 小）　増　田　里　奈　（園田北小）
〃　石　﨑　絵　美　（わかば西小）　林　誉　子　（園 和 小）
〃　武　市　瑞　代　（大 島 小）　薗　里　奈　（園和北小）
〃　八　重　優　子　（浜 田 小）　堀　内　みち子　（園田東小）
〃　宇　都　亨　（立 花 小）　戒　能　隆　幸　（上坂部小）
〃　中　村　智　美　（立花南小）　上　城　由　衣　（小 園 小）
〃　西　村　純　（立花西小）　濱　聡　美　（園田南小）

【内容の要約】

平成２８年度より，市内の各小学校から選任された教員が一堂に会し，国語科における主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の実現に向けた研究部会を立ち上げ，授業改善を推進している。平成２９年度も昨年度に引き続き，専任講師としてプール学院大学教育学部准教授　今宮　信吾　氏を招聘し，講話・演習・交流等を通して，授業実践へとつなげていった。今年度は，「尼崎の地域素材をいかした教材開発を通して」を副題として，各部員が主体的に地域素材を掘り起こし，教材と対話しながら教材研究に努め，児童の主体性を引き出す単元的な学習の展開を目指した。単元によっては，社会科や理科，総合的な学習の時間とのつながりから，教科横断的なカリキュラム・マネージメントの観点での研鑽を深め，新学習指導要領，新教育課程の実施に向けて，より具体的な研究を行うことができた。

２　小学校算数科教育アクティブ・ラーニング部会

アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）で創る算数科の授業を目指して

専任講師　　尾　﨑　正　彦
（関西大学初等部 教諭）
指導主事　　相　方　伸　二

研究員　葛原稔久（明城小）　西川千裕（名和小）
〃　浦井政高（難波小）　谷垣諒（塚口小）
〃　中尾武史（難波の梅小）　今井泰子（尼崎北小）
〃　西浦一樹（竹谷小）　春名祥吾（水堂小）
〃　望月康一（下坂部小）　関井康人（七松小）
〃　川中啓（潮小）　山本正貴（武庫小）
〃　佐藤由佳（長洲小）　増田慶子（武庫小）
〃　川端千尋（清和小）　木口範彦（武庫南小）
〃　下村一貴（杭瀬小）　池淵正樹（武庫南小）
〃　福田晃大（浦風小）　髙山睦（武庫北小）
〃　丸橋弘和（金楽寺小）　吉向良太（武庫東小）
〃　山田慎哉（浜小）　山本有恒（武庫庄小）
〃　田村和香子（大庄小）　中尾絵梨奈（武庫の里小）
〃　田所明子（成文小）　安部美佳（園田小）
〃　伊藤雄司（成徳小）　前川亮治（園田北小）
〃　安部裕子（わかば西小）　犬持卓也（園和小）
〃　井上慧（大島小）　亀岡優子（園和小）
〃　渡部真広（浜田小）　中野佑（園和北小）
〃　渡邊由香（立花小）　村上沙織（上坂部小）
〃　濵口明依（立花南小）　芝朋来（小園小）
〃　小野裕未（立花西小）　小西崇久（園田南小）
〃　荒井直樹（立花北小）

【内容の要約】

本研究部会では，算数科における「授業改善」を図り，「アクティブ・ラーニング」（主体的・対話的で深い学び）で創る授業を構築していく上で，以下のような実践に取り組む。

〇部会での学びを通して，目標とする授業の様相や子どもの姿を明確にしていく。

・専任講師による継続した指導をもとに，自分の授業の問題点を自覚するとともに，それらを日々の算数授業における授業改善に役立てる。

・専任講師により示された「子どもの声や問いに常に寄り添って，問いが連続するような授業を展開すること」を授業変革の第一歩とする。

〇教師自身もアクティブに学びを得られるよう参加型の研修を設定する。

・教材を研究する力，教材提示や指導技術等の実践的な授業力を身につける。
・「授業を観る力」，「子どもを観る力」を鍛え，「授業を創る力」に直結させる。
・各自が事前作成課題を持ち寄り，授業実践交流を行う。
○代表者による公開授業を年間２回設定する。

３　中学校アクティブ・ラーニング授業実践部会
アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び）の授業づくりを通して」
―「アクティブ・ラーニング」の授業実践と校内での広まり―

専任講師　寺嶋浩介
（大阪教育大学大学院准教授）
専任講師　泰山裕
（鳴門教育大学大学院講師）
情報教育担当係長　民谷洋二

研究員	山下賢二	（成良中）	上野泰輔	（塚口中）
〃	眞喜屋実之	（中央中）	田原俊記	（武庫中）
〃	川口智枝子	（日新中）	寺岡亮	（南武庫之荘中）
〃	山本裕	（小田中）	柏木千裕	（武庫東中）
〃	久井瞭	（小田北中）	福田量	（常陽中）
〃	窪野春生	（大成中）	山下雅啓	（園田中）
〃	山本綾	（大庄中）	磯田秀行	（園田東中）
〃	西村歩樹	（大庄北中）	佐久間直記	（小園中）
〃	池本浩之	（立花中）		

【内容の要約】

中学校の「アクティブ・ラーニング授業実践部会」は，市内全中学校から推薦された部員により組織された部会であるが，各校からは，可能な限り，昨年度の部員とは違う教員を推薦してもらうようお願いをして，部会を組織した。

取組内容については，今年度も引き続き，次の２点を大きなねらいとする。

○アクティブ・ラーニングの授業づくりを通して，その重要なポイントを明確化することができる。

○上記の視点をもとに，教員向けの研修等をデザイン，実施することができる。

年間７回実施される部会を通して，以下のような活動に取り組む。

○「アクティブ・ラーニング実践のポイント」について学ぶ。
○先行事例に学びながら，自らが「アクティブ・ラーニング」を授業で実践する。
○「アクティブ・ラーニング実践」について，考えを深める。
○「シンキングツールの活用」について学ぶ。
○部会での内容等を，校内でどのように広めるかを考える。
○自分以外の教員（できれば他教科）も巻き込んで，「アクティブ・ラーニング」の授業実践を広める。

４　道徳教育研究部会

道徳性を育むための授業づくりの工夫

専任講師　杉　中　康　平
（四天王寺大学 准教授）
指導主事　田　中　かおり
研究員　小　山　陽　子（浜　小）
〃　立　半　博　満（武庫南小）
〃　由　良　健　一（武庫床小）
〃　大　澤　奈緒子（武庫の里小）
佐　藤　博　之（南武庫之荘中）

【内容の要約】

道徳の時間において，児童（生徒）が他者との対話を通して多様な考えに触れ，ねらいとする道徳的諸価値の理解を基に，自己を見つめ，物事を多面的・多角的に考え，自己の（人間としての）生き方についての考えを深めさせることは，他者と共により良く生きようとする道徳性を育むことにつながる。本研究では，どのような発問をすれば道徳的価値に迫ることができるか，児童・生徒がより多面的・多角的な見方へと発展していくか，また，自分自身との関わりの中で深めていくことができるか等，発問の工夫と共に，多様な意見を出し合い高め合う授業のあり方を求めた授業実践の指導案の変遷を提示する。

５　外国語・英語科教育研究部会

次期指導要領で新たに示された表現を取り入れた指導の在り方を探る

専任講師　今　井　裕　之
（関西大学 教授）
指導員　小　谷　隆　宏
研究員　野　上　直　哉（園和小）　平　島　理　絵（難波の梅小）
〃　岸　本　理　沙（立花北小）　山　村　優　介（立花北小）
〃　太　田　宏　樹（立花小）　大　澤　奈緒子（園田中）
〃　和　田　紗　知（小田北中）

【内容の要約】

小学校で平成３２年度，中学校で平成３３年度から始まる次期学習指導要領の完全実施に向けて，平成２９年２月に小学校外国語活動及び外国語における年間指導計画（素案）が示された。本研究部会では，来年度から始まる移行期間を見据え，次期学習指導要領で新たに示された表現を取り入れた指導の在り方について，授業実践を通して探る。

１２　児童生徒文化充実支援事業の実施報告

児童生徒の個性の伸長、学習への興味・関心・意欲の向上を図るため、児童生徒の研究、調査、発表などの文化的活動を奨励支援する行事を開催いたしました。

１　中学校・高等学校合同音楽会
（平成 29 年 11 月 1 日　あましんアルカイックホール）
小学校音楽会（平成 29 年 11 月 9・10 日　あましんアルカイックホール）

２　幼児画展・図工展・美術展
（平成 30 年 1 月 31 日～2 月 4 日　総合文化センター美術ホール）

３　演劇発表会（平成 30 年 1 月 28 日　ピッコロシアター）

４　書道展（平成 30 年 1 月 24 日～1 月 29 日　総合文化センター美術ホール）

５　なかよし作品展（平成 30 年 1 月 24～1 月 29 日　総合文化センター美術ホール）

６　英語祭（平成 29 年 10 月 31 日　中央公民館）

７　特別支援学級卒業生を送る会（平成 30 年 2 月 24 日　武庫地区会館）

８　スピーチフェスティバル（平成 30 年 2 月 8 日　難波の梅小学校）

９　放送・映画感想文コンクール表彰式（平成 30 年 2 月 3 日　中央公民館）

１０　中学校読書感想文発表会
（平成 29 年 10 月 31 日　教育・障害福祉センター）
小学校読書感想文・感想画発表会
（平成 29 年 12 月 1 日　教育・障害福祉センター）

１１　中学校理科作品展・研究発表会（平成 29 年 9 月 23 日～26 日　青少年センター）
創意工夫展（平成 29 年 9 月 16 日～19 日　青少年センター）
児童理科研究発表会（平成 29 年 10 月 26 日　教育・障害福祉センター）

１２　中学校社会科作品展（平成 29 年 9 月 23 日～9 月 28 日　中央公民館）

１３　小学校家庭科作品展　（平成 29 年 10 月 5～6 日　青少年センター）
技術科・家庭科作品展（平成 30 年 2 月 17～18 日　青少年センター）

１３　平成２９年度　教科書センター事業報告

１ 常時展示	開館時間	平日 9:00～21:00（但し，土曜日，日曜日は閉館）
	展示教科書	小学校　　昭和 40 年以降の教科書 中学校　　昭和 37 年以降の教科書 高等学校　　昭和 45 年以降の教科書
	その他	学校教育法附則第 9 条に基づく一般図書
２ 法定展示	開館時間	平成 29 年 6 月 16 日 ～ 平成 29 年 7 月 5 日 （但し，土曜日，日曜日は閉館）
	展示教科書	平成 27 年度～平成 30 年度使用小学校用教科書 平成 28 年度～平成 31 年度使用中学校用教科書 平成 30 年度使用高等学校用教科書 平成 30 年度使用小学校用「特別の教科 道徳」教科書
	その他	学校教育法附則第 9 条に基づく一般図書

１４　平成２９年度　教育情報の収集・整理事業報告

１ 各種教育資料の収集（保有数）	
・教育関係図書	14187 冊
・教育関係資料（研究紀要・報告書）	8086 冊
・雑誌収集	12 タイトル
２ 教育広報活動	
・「教育総合センターだより」	№. 144 ～ №. 147
（平成 29 年 5 月，9 月，12 月，平成 30 年 3 月の年 4 回発行）	
・「教育あまがさき」	第 80 号 ～ 第 81 号
（平成 29 年 10 月，平成 30 年 3 月の年 2 回発行）	
３ 各種刊行物の発行	
・ 教育研究報告書	紀要 55 号

（様式３）

第　　号
平成　　年　　月　　日

尼崎市立教育総合センター
　教職員の学び支援課長 様

校・園名　　尼崎市立
校・園長名　　印

欠　席　届

みだしのことについて、次のとおり届けます。

１　研修・研修講座名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２　研 修 実 施 日　　平成　　年　　月　　日（　　）

３　対　象　者　名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

４　欠　席　理　由　　※校務の場合，本人でなければならない理由を明記する。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

以　上